

女性の
ための
玩具
私が試した
ラブグッズ

著・久雅山美桜

MIO KUGAYAMA

ワーキングガール・美桜の
おもちゃ体験 & 快感ダイアリー

◆ カバーイラスト
あほすたさん



イラスト/
あほすたさん

女性の
ための
玩具
私が試した
ラブグッズ



もくじ

contents

ご挨拶	006	♥コラム2	ラブグッズの洗浄	042
電気マッサージ器	012	アナルプラグ	044	
♥コラム1		ガラス製ディルド	048	
挿入してはいけない物	018	オルガスター	051	
ローション	020	フリーダム	054	
ローター	025	吸着型ディルド	057	
バイブレーター	029	ゲイシャボール	063	
アメバチ(飴抱)	031	アネロステンポ	067	
小型ローター	037	♥コラム3		
		ラブグッズの収納場所	072	
		金属製ディルド	074	
		双頭ディルド	077	

コードレス電マ	080
U字ディルド	084
遠隔ローター	087
麻縄	093
ゴムチューブ	097
電動アナルプラグ	101
♥コラム4	
理想のラブグッズ	106
R-1	108
キングダムハーツSally	111
電動ドリルバイブ	113
ロウソク	115
洗濯ばさみ	117



♥編集部より---	
女性全般の性感、及びに自慰や性行為 で感じられない原因について	120
奥付	130

づい挨拶

久雅山美桜（くがやま・みお）

私が初めてオナニーをしたのは13歳の時でした。それ以前にも性欲はあったはずなのですが、はっきり自覚したのは中学に入ってからで、雑誌やネットの情報でオナニーのやり方についてなんとなく理解して、下着の上からクリトリスを指で押ししたり揺らしたりしながら気持ちが悪くなる方法を試しました。

私がオナニーのために使っていたのは、お姉さんのいる友達から借りた漫画や小説で、いわゆるティーンズラブというものでした。そうした作品の大半は、イケメンの社長や金持ちに主人公がちよっとSMプレイ風に愛されるというもので、その頃から自分が年上好きでマゾだという自覚がありました。

今でも年上のスーツをビシッと着こなした金持ちの男性から、全裸でオナニーをしているところを見下ろされて、

「お前、人前でオナニーして興奮するのによ」

などと嘲られるところを想像しただけで、オナニーが出来るぐらいおじさんが好きです。

当時の友達の大半は某芸能事務所の男性アイドルグループか、某ダンスグループか、それよりマイナーだと韓国系アイドルかという感じで、おじさん好きは私も含めて少数派でした。だから友達と好みの男性の話はできるだけしないようにしていました。一度だけ、そういう話になった



時に「真田〇之」と言ったら、凄く変だという顔をされて傷ついたからです。

中学時代のオナニーが一番驚いたのは愛液の臭いです。性的に興奮すると、独特な甘い臭いが部屋に充満するので、自分でも女性器が濡れているのがわかるのです。


高校に入ってセックスに関する具体的な方法を知ると、私は実際に何かを膣内に入れたいという衝動と、そうしたことはいけない行為だというモラルの間で悩まされるようになりました。

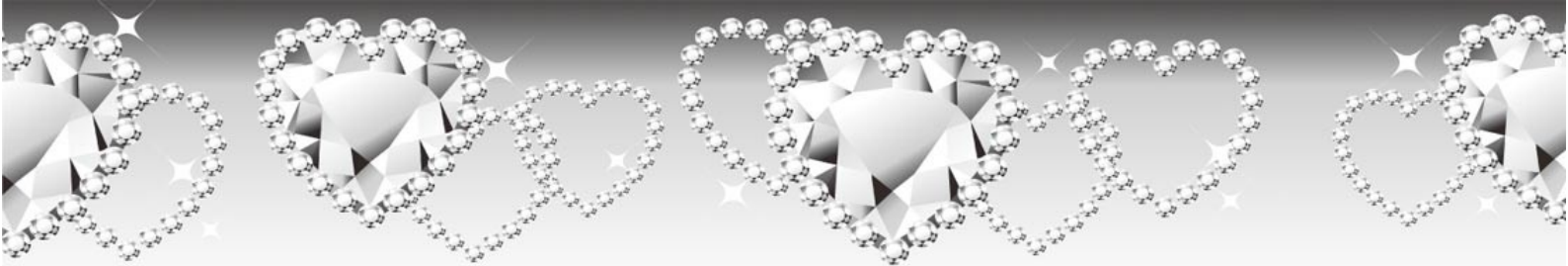
また、衝動に負けて膣口に入れた指が処女膜に触れると、吐き気に襲われるのも悩みの一つでした。これは未だに理由がよくわかっていません。ただ、そのせいでセックスをしようという気持ちはなれませんでした。もっとも私が通っていたのは女子校だったので、そのチャンスもあまりなかったのですが。

ラブグッズを使うようになったのは東京の大学に合格し、独り暮らしを始めてからです。親と同居しなくなるとすぐ、私はそれまでの鬱憤を晴らすように、そっち系の漫画や小説を買ってオナニーに耽るようになりました。大学で知り合った友達からBしを教わって、それも妄想のネタにするようになりました。

最初に使った道具は電気マッサージ器です。次はローションで、どちらもアダルトショップに行かずに買ったのが理由でした。まだ処女だった私に、アダルトショップは敷居が高すぎたのです。

ようやく処女を卒業できたのは19歳で、同年代に比べると遅い方だったと思います。相手はバイト先の上司で、一回り以上年上でした。初体験の時に感じたのは、想像を絶する痛みでした。あまりのつらさに泣きながら彼を下から押しつけようとしたぐらいです。翌日も股間に棒が挟





まったような感覚が消えず、とても素晴らしかったと言えるような体験ではありませんでした。
(こんな酷い目に遭うぐらいなら、セックスなんてしなれば良かった！)

そう思った私ですが、だからといって性欲が無くなるわけではありません。私がオナニーに耽溺したのは、この頃からでした。セックスで思ったように感じられなかった反動で、どうしても性的な快感が欲しかったのだと思います。

けれども、それがきっかけで彼氏との関係にヒビが入りました。彼は女性に性欲があること、オナニーをすることを認めたくない男性でした。バイブなどのラブグッズと、自分のペニスやテクニクを比較されるのも嫌だったようです。私がオナニーをしていると知ると露骨に嫌な顔をして、まるで私が悪い事をしているかのように責めるようになりました。

初めは、

(私が悪いんだろうか?)


と悩んでいたのですが、そのうちに、

(男性だってオナニーしているのに、なんで私だけ我慢しなくちゃいけないんだ！)

と腹立たしい気持ちになり、彼と口論をするようになりました。

結局、付き合い始めて二年ほどで彼とは別れました。重圧から解放された私は、より気持ちの良いオナニーの方法を探求すべく、アダルトショップに顔を出すようになりました。そうして一年半ぐらい男性とは付き合い合わず、オナニーライフを満喫していました。

二番目の彼氏と付き合い合ったのは大学卒業後、今の会社に就職して半年ほど経ち、仕事に慣れてからでした。仕事に必要なだったため、セミプロレベルの写真技術を習いたくて、参加した写真サー



イラスト/オヨヨ





クルの講師が今の彼氏で、最初の彼と同じように自分より一回り以上年上です。

最初にサークルに参加した時から、年上の男性らしく女性にがつついた感じがしなかったのが好きだったので、撮影会が終わってから飲み会が始まると、同じサークルの男性から、かなりハードなセックス関連の話が振られているにもかかわらず、それに余裕で答えているのが私の気を惹きました。最初の彼氏でセックスライフに失敗していた私は、女性の性欲に否定的な男性、オナニーに否定的な男性とは二度とつき合わないと固く心に誓っていたので、そうしたタブーが無さそうな男性は魅力的だったのです。

私は写真サークルの飲み会に頻繁に参加して、彼の素性を探りました。映像制作会社に勤務していた彼は、そのついでAVメーカーやAV監督に知り合いが何人もいるとのことでした。だから、セックスやラブグッズにも詳しくかったです。

そのうち私は彼と個人的にメールのやりとりをするようになり、何度か食事をしてお互いに好意があることを確かめてから、最後はめでたくラブホテルに誘ってもらって関係を持ちました。

私は男性経験が元彼しか無かったので、まさか男性によってこれだけセックスが違うとは思っていませんでした。一番目の彼はビックリするほど上手で、痛いどころかとても気持ち良かったのです。今の彼氏の話によると、私がオナニーを続けていたのも良い結果につながったのではないかとのことでした。性感はスポーツと同じで、定期的に訓練していないと衰えてしまうのだそうです。オナニーすることを肯定された私は嬉しくて仕方なく、今の彼とつき合うことを決めました。

私のラブグッズ経験回数が一気に増えたのは、今の彼氏のお陰というかせいです。彼はSMが





大好きで、知り合いのAV監督さんが使ったというラブグッズを、自分の彼女に使わせたがる変態さんだったのです。

(なんでこんなにラブグッズ情報に詳しいんだろっ?)

と思っていたのですが答えはシンプルで、単に性癖でした。お陰で私もどんどんラブグッズに詳しくなっていました。

オナニーが好きであることは否定しませんし、女性にも性欲があると主張したい私ですが、まさかここまで自分が変態的な行為に溺れるとは思っていませんでした。やり過ぎました。もう、普通の性生活に戻れる自信がありません。というか、たぶん無理です。


そんな私がこの本を執筆したきっかけは、彼のコネを通じて「三和出版さんがラブグッズの実験を書ける女性はいないかと探している」という問い合わせが来たのがきっかけでした。最初は、

「長い文章なんて書いたことがないから無理!」

と断っていたのですが、プロのライターさんに文章を直してもらおうという条件で執筆を受けさせていただきました。だから、文章に変なところがあつたら私の元の文章がおかしかったからだと思います。

● 著者プロフィール

久雅山美桜 (くがやま・みお) ……都内在住・20代のワーキングガール。趣味は写真撮影と食べ歩きで、多数のラブグッズに囲まれて一人暮らしを満喫中。目下の関心はコスプレです。





電気マッサージ器

♥スライヴハンディマッサージャー

（軽量&ハンディタイプ）の振動マッサージャーで肩こりをほぐすのに便利です。柔軟なネックと丸いヘッドが凝りのポイントにぴったりとフィットします。「はやい・ゆっくり」の二段階切替式のベーシックなタイプです）



♥フェアリー

（大型電マの元祖。強弱無段階コントロール可能で好みの振動が選べます。ピンクとホワイトのカラーリングがキュートです）



♥パワーシェイク

（通称は黒電マ。先端は硬化ゴムを使っています。ジョグダイヤル式で無段階変速機能なので、簡単に微調整することが可能です）



♥オルガ電マ

(フェアリー用のアタッチメント。人気の『オルガスター』をフェアリーの超振動で楽しめます。大き目の『オルガ電マBIG』もあり)



電気マッサージ器は、大学に入って独り暮らしをするようになって、最初に買ったラブグッズです。ただ、高校時代からこの道具をオナニーに使うことは知っていました。知ったきっかけはよく覚えていないんですが、たぶんネットで観たAVだったと思います。

まだ、指でしかオナニーをしたことがなかった私は、

(こんなの使ったら、アソコが壊れちゃうー！)

と本気で信じていました。

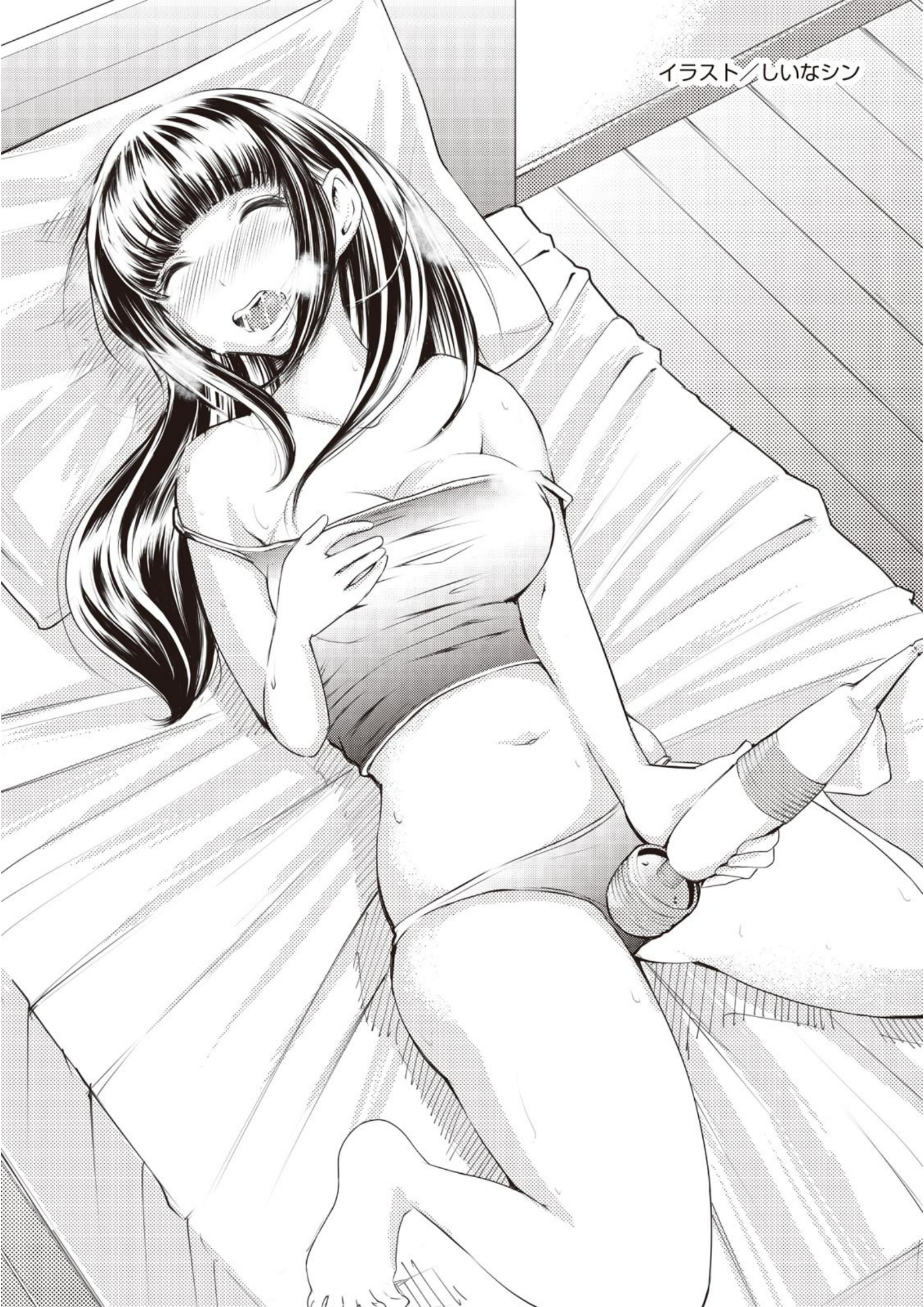
でも、よく考えてみると電マで責められているAV女優さんのアソコが壊れて事件になったという話は聞いたことがなく、

(あれは私の妄想だったんだな)

と気がついたのは大学に入ってからでした。そこで、色々調べてみたらドで始まる某デイスカウントショップで買えることが判ったので、さっそく購入してみました。値段も安いし、レジまで持っていくのに一見するとラブグッズに見えないというのも良かったです。

後で知ったのですが、それが『スライブ』というお道具でした。スイッチは強弱の二種類しかないシンプルなもので、とても分かり易かったのですが、このお道具を使うのにはちよつとした苦労がありました。電源です。

後で紹介するコードレス電マと違って、普通の電マはコンセントに接続する必要があります。ところが、私の部屋には延長コードが二つしかなく、どちらもめいっばいまで使っていたんです。そこで仕方なく、買った日はオナニーに使わず、動くかどうかを確かめるだけに終



わったんですが……この道具、大きな音がするので驚きました。

(これ、絶対隣にオナニーしてるのがバレる！)

と確信するほど激しい音のような気がしたんです。それで、やはりネットを使って騒音について色々調べたら、どうやら「自室では多少大きく聞こえる」程度のものでしたのですが、それでもできるだけ音はしない方が望ましいのは変わらなかったもので、最初は大音量で音楽をかけながらオナニーをしていました。でも、しばらくして、

(あれ？ これって、外に音楽が聞こえていたら、それがオナニーをしている時だつてばれるんじゃない？)

と気がついて、それからは布団をかぶってオナニーをしています。

話を戻して電マを買った翌日、家電販売店で長めの延長コードを買った私は、家に戻ってネットでオナニーのネタになる小説や漫画を読み、妄想がパンパンに膨らんだところでベッドイン。下着の上から電マを当ててオナニーを始めました。

するともの凄く短い時間で簡単にクリトリスでイッただけでなく、オシッコが漏れるような感触がありました。

驚いて股間を触ると、本当に温かい水のようなもので濡れていました。後から思えば、その時は潮を吹いていたわけですが、当時の私は、

(オシッコ漏らした！)

と心の底から驚きました。まさか、自分の身体にそんなことが起こるとは思ってもみなかったからです。また、後始末をする必要から、お風呂場に行つてパンツを脱ぎ、シャワーで股間を洗つたのをよく覚えています。

それから私は電マオナニーにはまりました。一人で部屋にいる時は、ほぼ毎日やっていたような気がします。そうすると、最初は弱で下着の上からクリトリスを焦らすように刺激して、イキたいと思つたら強に切り替えてオシッコが漏れるまで当て続けるのが、一番好きな刺激の仕方だというのが判つてきました。でも、これも今から思えば処女のまま毎日潮を吹いていたということになるんですよね。

彼氏ができて初体験をしても、電マオナニーは続きませんでした。その彼氏とも別れて、今のSM好きの彼氏とつき合つてから私のラブグッズに対する知識は一気に増えたんですが、無段階コントロール電マと電マタッチメントもその中に含まれます。



無段階コントロール電マは、私が電マでオナニーをしていると知った彼がプレゼントしてくれました。それが『フェアリー』です。スイッチの代わりにダイヤルがついていて、それを回すことで強さを自由に調整できます。『スライブ』でも十分気持ちよかったですけど、『フェアリー』はオナニーの幅を広げたような気がします。ただ、どちらも長時間使っているとモーターが発熱して怖いんです。『フェアリー』を小さくした『フェアリーミニ』は、もっと発熱しやすく、

(発火したらどうしよう)

と気になって、プレゼントしてくれた彼氏に返してしまいました。ただ、お道具として悪かったというより、自室に電マが三本もあるのは、普通の女性の部屋っぽくないなと感じてしまったのも原因なんです……。

もうひとつの電マアタッチメントは、私が使うと言うよりも彼氏が私に使っています。女性が自分で使うためのアタッチメントもあるんですけど、私自身が使ったこととは違いますね。彼氏がよく使うのは『オルガ電マ』というアタッチメントで、これを電マのヘッドに着けると、オルガスター（後述）と同じような効果があります。最初にこれで責められた時は、クリトリスと女性前立腺を

同時に刺激されたのに我慢ができず、一度のプレイで三回ぐらい潮を吹いてベッドが大変なことになりました。使ったのがラブホテルで良かったです。ちなみに、あまりにも凄い勢いで漏らしたので、心配になってベッドを触って確かめたら、シーツの下に介護用の防水シーツが敷いてあって、

(あ。セックスの最中にオシッコを漏らすのは私だけじゃないんだ！)

と嬉しくなっていました。ちなみに、彼氏が私に使うのは『スライブ』でも『フェアリー』でもなく、『パワーシェイク』という真っ黒な電マです。こちらの方がパワーがあるそうなのですが、音ももっと凄いのので、自室で使うのは嫌というか避けたいですね。

最後に電マの面白い使い方というか、使われ方も書いておきます。それは、私がイキ始めたら彼氏が電マを私の下腹部に押し当てて動かすというもので、膣に何も入っていないくても、それだけで何度もイクことができました。これは凄いです。初めてやられた時は感動しました。でも、こうやって電マの話を書いていて思いついたんですけど、私、男の人とつき合っているより電マとの付き合いの方が長いですね……。



コ ラ ム ♡ 1
 挿 入 し て は
 い け な い 物

by みお♡

私は電マでオナニーをするまで、ラブグッズはもちろん、その他の道具も使ったことがありませんでした。ところが、世の女性、または男性にはチャレンジャーが結構いて、どう考えても突っ込んではいけないうものを女性器やお尻の穴に突っ込んでいます。

私がよく聞いたのは、鉛筆とボールペンです。小学校時代に、これをやっていた女の子を知っています。万が一、何かの拍子に倒れて、運悪くボールペンが膣の奥に刺さったらどうするのか？危なくてとてもお勧めできません。

中学生になってよく聞いたのがクリトリスにハミガキ粉やメン○レータムを塗るというやり方で、スーナーするのが良いらしいのですが、やっぱり危ないような気がします。

社会人になってから聞いた話で印象的だったのは、二ンジンを包丁で男性器の形に加工してオナニーに使っている女性で、

(器用だなあ)

と思う反面、

(膣内で折れたらどうするのだろうか?)

とも思いました。野菜にもコンドームをはめているはずですが、危険であることに変わりはありません。こけしを入れたら膣内で頭だけとれてしまい、産婦人科で抜いてもらったという話をネッ

トで読んだことがあります。

男性でも同じような失敗をする人は多いそう
で、ガラスビンやコップ、電球などをお尻の穴
に入れて、抜けなくなる人がいるみたいです。

これもネットで調べたのですが、二〇一四年
の第六九回日本消化器外科学会総会で、発表さ
れた『直腸内で破砕せざるを得なかった巨大直
腸異物の一例』という演題で、六四歳の男性が
お尻の穴に直径七センチの湯飲みを入れたら
抜けなくなり、病院で破砕して取り除いたとい
う例が報告されたそうです。

ただ、おっかないと思うのはお尻の穴に入れ
てとれなくなったものに、バイブやディルドが
あることです。本来、アヌスは異物を挿入する
ようにはできていないので、下手に奥まで入っ
てしまうとラブグッズでも抜けにくくなること
はあるのだそうです。アナルオナニーをするこ
とがある私にとっては、他人事ではありません。

ローターのような小型の道具をお尻の穴に挿

入する場合は、コンドームをかぶせて根元部分
を出しておけば、コンドームを引っ張れば肛門
からアダルトグッズを引き出せます。お尻の穴
の中へ完全に入らないように、根元の部分が下
字になっているアヌス専用のアダルトグッズを
使うのも良いかもしれません。

ただ、直腸の奥までラブグッズを挿入しよう
と思うと、どうしても蛇のように長く、根元も
ストレートのディルドが使いやすいのですが
……。





ローション

♥リ्यूーブゼリー

(一九八二年に日本で初めて性交痛緩和のために開発された水溶性潤滑ゼリー。今も支持されているロングラン商品です)



♥ペペローション

(世界的ベストセラーのオレンジキップ『ペペ』。純天然成分で無味・無臭・無害、中高粘度ローションの定番商品です)



♥SODローション パッションタイプ

(肌に濃厚にからみつく、超ネバネバタイプのラブ・ローション。もちろん無着色・無香料、片手で使用できるヒンジキャップが便利です)



私がローションを初めて使ったのは電マの後でした。ローションの存在はネットの検索で初めて知ったのですが、男性向きラブグッズのオナホールに使う例が多く、女である自分は関係ないかな……という印象でした。ところが、です。独り暮らしを始めてしばらくして、薬や生理用品以外の物もドラッグストアで購入する機会が増えた私は、そこにコンドームと並んでローションも売っていることに気がつきました。その中に、明らかに女性用とおぼしき商品があったのです。

(あれ? なんだこれは? 女性用?)

と思いつつ商品名を暗記してお店の外に出て、インターネットで検索してみたら、性交時に膣内が濡れにくい女性のために開発されたものとわかりました。それが『リューブゼリー』です。処女で挿入経験がなかった私は、性交痛などというものがこの世に存在することを知らなかったのです。

私が好奇心を刺激されたのは言うまでもありません。そこで次にドラッグストアに来た時に、いかにも非処女のような素振りをして、『リューブゼリー』を買いました。家に帰るとさっそく下着を脱いでベッドに横たわった私は、指にゼリーを塗って膣の周辺に触れました。

確かに、いつもと比べると指の滑りが違います。

(これなら、指を膣内に入れても平気かも)

と思った私は、そのまま中指を膣内に潜り込ませたのですが……やっぱり指が処女膜に当たると吐き気がして、挿入は無理でした。ただ、その後も指でオナニーをする時はローションを使う場合がありました。その方がヌルヌルして気持ちが良いからです。特にクリトリスの包皮を剥いて、指で直接触れる時はローションが必要でした。何も塗らずに触ると敏感すぎて気持ち良くなるのが難しかったからです。

そんなローションとの関係が深まったのは、やはり二人目のSM好きの彼氏とつきあい始めてからでした。彼がアナルセックスをしたのがきっかけです。その彼が持ち込んで来たのが『ペペローション』(ラバー・アンド・ラバーズ)と『SODローション』(パッシュオンタイプ)でした。肛門に指やお道具を入れるのに、できるだけ粘度が高くて、でも買いやすいものがないとのこと、この二つをよく使っているそうです。

ちなみに、肛門用の潤滑剤にはこの他にも色々な種類があるのですが、ワセリンやベビーオイル、油が主成分の潤滑剤はコンドームのゴムを劣化させるので、それら



の潤滑剤を使いたいのであればポリウレタン製のコンドームを使った方が良いみたいですね。後はシリコンが入った潤滑剤はシリコン製のラブグッズを劣化させるので、一緒に使うのは避けた方が良さそうです。

何に使っても問題がないのは水で溶ける（水溶性の）潤滑剤で、先ほど挙げた二つはどちらも水溶性なんです。その分だけコンドームやラブグッズにはつきづらい（ローションをはじいてしまう）ので、塗るならラブグッズだけではなく、性器や肛門にも塗らないと駄目とのことでした。

それで、先ほどのローションとアナルプラグを使ってお尻の穴を広げる練習をした私ですが、無事アナルセックスができるようになりました。ただ、それで満足する私でもないわけです。当時の私の部屋には、

「アヌスを広げるために使っておけ」

と彼から渡されたローションのボトルが何本も転がっていました。彼はプレイをする時に道具がないことを凄く嫌がる人で、少しでもローションを使うとすぐに新品のローションを買ってきてしまっていたからでした。

しかし、電マと同じように女性の部屋に何本もローションのボトルが並んでいる光景はおかしいわけです。

ただ、電マと違ってローション自体は台所やトイレに捨てられます。水溶性なので、水に流しても問題ないからです。でも、捨てるのは勿体ない。

そこで私は、

（捨てる前にローションで全身をヌルヌルにしてみたい）
 と思い立ったのでした。さっそく入浴時に少しづつ余っていたローションを洗面器に集め、それを自分の身体に塗ってみて……危うく凍えかけました。ローションが急激に私の体温を奪っていったのです。その時は、あわててシャワーを浴びて事なきを得たのですが、後で今の彼に事情を話したら爆笑されました。

身体についたローションの温度が体温より低い場合は、体温に近い温度になるまで身体からエネルギーを奪っていくので、ただ塗るだけでは駄目なのだそうです。その説明を聞いてくれた私が、

「だったら、ローションプレイを私にしてよ」

と拗ねると、なんと彼がOKしてくれました。ただし、プレイをする場所はラブホテルという話でした。

彼に連れられていったラブホテルのバスルームには、ローション用のマットがありました。浴槽にお湯を入れ、浴室全体が温まるのを待って二人でお風呂に入ります。

イラスト／bee



彼は持ってきたローションを洗面器に入れ、続いてもの凄く熱くしたお湯を入れてかき混ぜました。

「それ、どれぐらいの温度なの？」

と尋ねると、返ってきた答えは六〇度。火傷してもおかしくない温度です。でも、ローションがみるみる熱を吸い取ってしまうので、高温のお湯で薄めないと駄目、という話でした。ローションのぬめりけを残したければ、少量の熱湯とかき混ぜることもあるそうです。

準備ができた彼は、ローションマットの上に私を呼び寄せました。そこで私が仰向けに寝ると、彼がローションの入った洗面器を傾けます。すると全身が熱くネバネバした液体で覆われました。そんなローションまみれになった私を、彼は両手でなぞったりくすぐったりします。それまで経験したことのない責めに、私はのたうち回りました。特に乳首への責めにはもの凄く感じてしまい、指だけでイカされてしまいました。その後、彼は指マンをしたりまたくすぐったりと、ずっと私を刺激し続けましたがセックスだけはしませんでした。後で理由を訊いたら、滑る上にローションが乾くとガビガビになるので、セックスするのは難しいとのことでした。

同じように避けた方が良いのはローションプレイ中に



立ち上がることで、タイルの上にこぼれたローションを踏んでしまうと、転倒する危険があるからだそうです。結局、全身ローションプレイはこれも含めて三回ぐらいで終わってしまいました。でも、ローションは今でもラブリグッツをヴァギナやアヌスに挿入する時に使っています。コンドームと並んで、欠かせない脇役です。



ローター

♥新ファンキーローター（シングル）
（ラブリグッツの定番アイテム、通称「ピンクローター」。ダイヤル式の無段階調節で強弱の調整が出来ます。確認できたただけで八色のタイプがありますが、左写真はレッドです）



♥ビブラル

(究極の高回転で痺れにくいシリコングリッ
プ付きの新スタンダードローター。五段階振
動で「強」を越えた『激』モード搭載されて
おり、なんとMAX毎分一万五千回転が実現
しました。もちろん同クラスのローターの中
ではトップの回転数です。色はピンク・ブラッ
クの全二色あり。左写真はピンクです)



私がローターを買ったのは、最初の彼氏と別れてしば
らくしてからでした。それまでは、電マやローションな
どアダルトシヨップ以外でも買えるものを買っていた私
ですが、処女を喪失して大胆になったというか、彼氏と
別れて吹っ切れたというか、とにかく今までとは違った
オナニーがしたかったのです。

でも、通販でラブグッズを購入するのはためらわれま
した。宅配便の人に何を買っているのかがバレるのが嫌
だったので。家族で生活しているのであれば、誰が買っ
ているのかわからない商品でも、独り暮らしだと話が違
います。

色々悩んだ私は、女性だけが入れる時間帯を設定して
いるアダルトシヨップの存在をネット検索で知り、そこ
に行ってみることにしました。当日はドキドキしながら
お店に入り、中を見て回ったのですが、予想以上にオナ
ホールや強壯剤、短小用のアタッチメント、早漏防止の
リングなどが揃っていて驚きました。女性向けの道具は
かりをネットで検索していたので、そういう男性向けの
道具がたくさんあることを知らなかったのです。

ただ、この時はまだバイブを買うのに抵抗がありまし
た。店内をウロウロするのも嫌でした。私は買いたい物をロー

ターに絞り、損をしても後悔しないように一番安いものにしました。それが『新ファンキーローター』です。しかし、買った時は正式な名前は知りませんでした。箱にちゃんと名前が書いてあったかどうかも定かではありません。

ローターを買った私はショップを出て、そこでとんでもない目に遭いました。なんとお店の入り口に男の人が待ち構えていて、

「ねえねえねえ、どう？」

と声を掛けてきたのです。私は男の人を無視してその場を足早に去りましたが、かなり怖い経験でした。まさかアダルトショップの前で女性を待ち構えている男性がいるとは思っていませんでした。宅配便に関してはいつも使っていたので想像がついたのですが、アダルトショップは行ったことがなかったので危険に気がつきませんでした。

幸い、男性はそれ以上私を追ってこようとしなかったのです。無事に自室へと戻れました。時間が経って精神的に落ち着いた私は、パッケージを開けてローターを弄ってみます。ところが、オマケについていた単三電池が劣化していたらしく、電池ボックスに入れて動かしてみ

も弱々しく振動するだけなのです。これではオナニーに使うのは無理だと判断した私は室内で電池を探したのですが見つかりませんでした。仕方なく一〇〇円ショップまで行って買ってくるはめになりました。

こうして、ようやく使えるようになったローターですが、電マよりもずっと振動が弱いものの、電マより軽く音がせず、電池で動くのでどこに持って行っても大丈夫と、なかなかの優れたものでした。

オナニーの方法は基本的に電マと一緒に、下着の上からクリトリスに押し当てて振動させました。でも、刺激がそれほど強くないので、オシッコが漏れるほどの快感はありません。そのうち、下着の上から押し当てる方法では物足りなくなった私は、新しい方法でのオナニーを思いつきました。クリトリスの包皮を剥いて、ほんの少しだけローターを触れさせるのです。

これは電マ並みに強烈な快感を私にもたらしてくれました。ただ、ローターを強く押し当てると快感よりも痺れというか軽い苦痛の方が勝ってしまうので、調整が難しいという悩みがありました。けれども、それは別の道具で緩和されました。ローションです。『リユーブゼリー』をクリトリスの周辺に塗ってからローターで刺激する



と、包皮を剥いた状態で強く押し当てても、それほど痺れないことがわかったのです。

この方法で経験を積んだ私は、ローターを使った別のオナニーにチャレンジすることにしました。膣内への挿入です。しかし、これは上手くいきませんでした。ゼリーを塗ったローターを膣内に入れても、膣が締まると飛び出てきてしまうのです。色々試したのですが、ローターを長時間膣内に留めることは出来ませんでした。

また、当時は衛生面での気遣いも甘く、汚れたローターは水洗いして済ませていました。今から思えば、よく病気にかからなかったものです。

今の私は衛生面も考慮しつつ『ビブラル』というローターを使っています。このラブグッズは今までのものと比べると振動がずっと強いだけでなく、それでも指で持って使えるように、ローターの後ろ側にシリコングリップがついているので、とても使いやすくお気に入りです。



バイブレーター

♥パリススタイルエール

(優美な曲線が特徴で、ラベンダー・チェリー・スカイ・ダークの全四色のカラーごとに形状が異なります。左の写真は男性自身に近い形のラベンダーです)



ローターの次に購入したラブグッズがバイブです。ところが、私はこれで二度ほど大失敗をしています。ローターと同じ手順で、アダルトショップに行つて最初に買ったのが、フリッパーというクリトリスを刺激するた

めの二股に分かれた枝のようなものがついたバイブでした。けれど、私の女性器とフリッパーの位置が合わなかったようで、膣内にバイブを挿入した段階で、クリトリスに当たるフリッパーの位置がおかしくて、バイブを動かしても痛いだけだったのです。

これは駄目だと思った私が次に買ったのが外国製の比較的値段の高い、フリッパーがついていないストレートタイプのバイブでした。見た目もお洒落な上に、女性器を考慮した形状（編集部注・膣は閉じている状態ではアルファベットのHを横方向に引っ張ったような形をしているので、バイブも横幅が広くて高さがそれほどない形をしていた方が挿入しやすい）をした優れものだったのですが、ひとつだけ問題がありました。充電式だったのです。だからバイブを充電し忘れると、もう使えないんですね。

おまけに大学卒業後、就職先に近い場所へ引っ越した際、そのバイブの充電器をなくしてしまったんです。これがトラウマになった私は、二度と充電式のバイブは使わないと心に誓いました。

その条件に沿う道具として買った三本目のバイブが『パリススタイルエール』です。今回の本を書く必要か

ら編集部の方に調べてもらったのですが、この道具はG r a nという高級な充電式バイブの廉価版なのだそうです。

まず、『パリススタイルエール』が良いのは医療用シリコン製で、触り心地が適度に柔らかかったことでした。この道具を買った当時の私は、まだ固い素材で出来たラブグッズに対して偏見があつて、使いたくないと思つていたので。

次に電池式であること、やや反った男性器のような形状をしていることも購入の決め手になりました。実際に使用してみると、振動音も少なく布団さえかぶってしまえば気にならないのも好感が持てました。

バイブの使い方結構悩んだのが姿勢です。十分な長さのある道具なら正常位でも使えるのですが、二〇センチを切る長さになると手で保持しながら動かすのが結構難しくなります。色々姿勢を試した結果、今は右横臥位でバイブを使っています。利き手である右腕を下にした姿勢で身体を丸め、バイブを挿入したらGスポットに当たるように位置を変えてから、イクまで細かく動かすというのが一番気持ちのいい方法です。

動力がないデイルドと違って、バイブは振動するので

ローターのように性感帯へちゃんと当てられさえすれば大きく動かさなくてもイケます。また、挿入時にはローションを塗っていたので、膣内で擦れて痛くなることは一度もありませんでした。

でも、この道具も膣内に長時間入れておくことは出来ませんでした。イッてしまったり、下腹部に力を込めると筋肉の力で飛び出してしまっうんですね。

また、この道具も最初のローターと同様に、使い終わったら水洗いをするか、ボディソープで洗って乾かすだけで、それ以上の滅菌対策はやっていませんでした。まだ、私は病気にかかる危険性をちゃんと認識できていなかったのです。



アメバチ (飴杓)

♥アメバチ

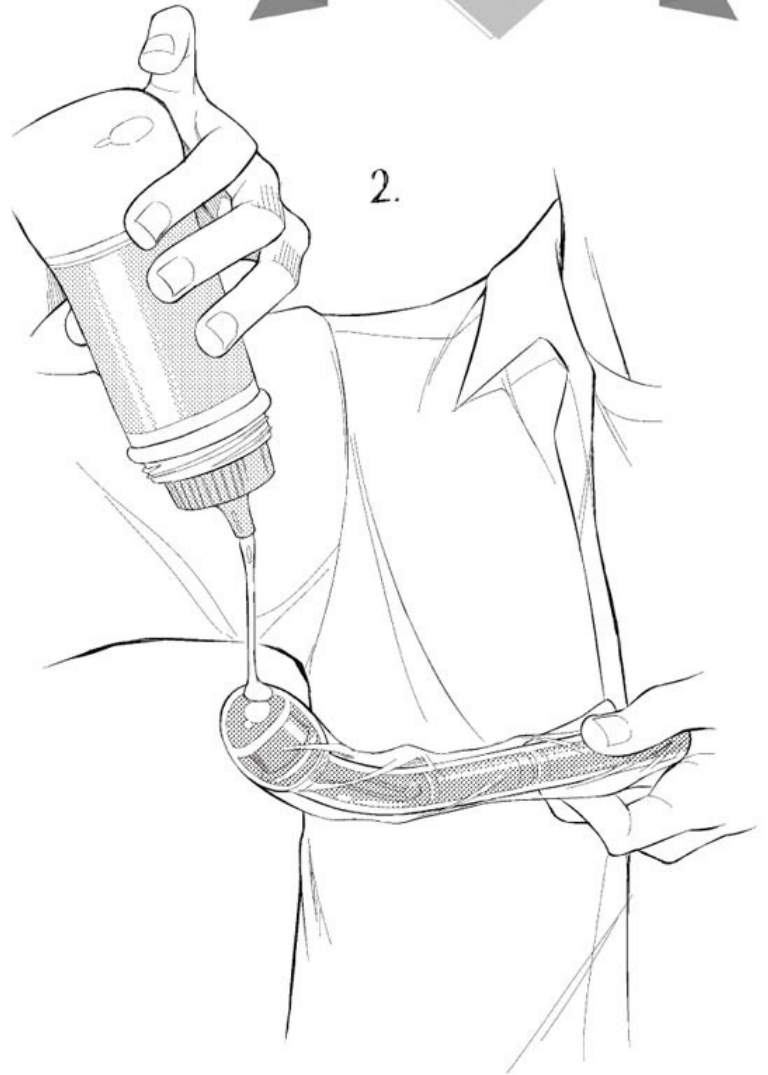
(バイブマッサージ器にライトアップ機能付。絶妙な角度でコリを刺激できます。生活防水仕様で、カラーはピンクとパープルの全二色あり。左写真はパープルです)



四本目のバイブは彼氏がSMプレイに使う目的で買ってくれたものでした。名前は『アメバチ』と言います。半透明なプラスチックの棒の先端にコブがあるという形状で、その中にモーターが入っているのが見えました。

●ラブグッズへの コンドーム装着と ローション塗布

イラスト / bee



♥バイブレーターを使用する際には、男性器と同じようにコンドームを装着することで雑菌を防ぎ、その上から潤滑剤を塗布して擦過傷を事前に予防してください。

●ラブグッズの 基本的な 持ち方

イラスト / bee

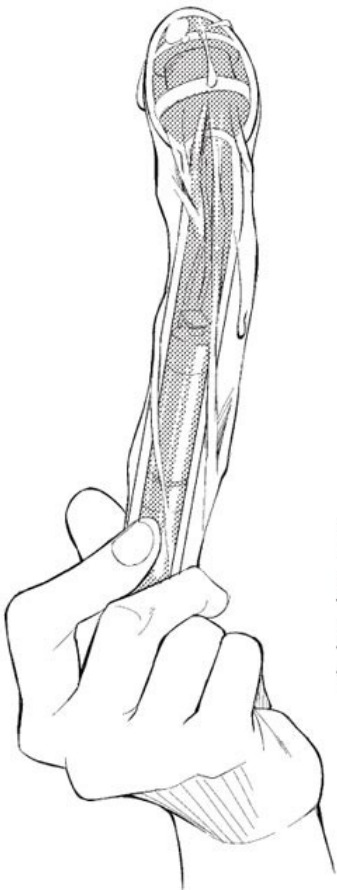
1. 人差し指と中指の付け根に、バイブの底部が
当たるようにします。



2. 親指の腹と中指の横側
でバイブを挟みます。



3. 人差し指の腹をバイブに当てて、3本の指でバイブをホールドします。余った薬指と小指は内側に握り込みましょう。バイブの後端を手のひらの指の付け根側で押さえるような形です。



♥ 刀の柄を握るように、
バイブを真横から鷲づかみにしてはいけません。
バイブを使用する場合、膣内の性感帯を刺激するのが主な
目的になるため、微細なコントロールが要求される
のですが、鷲づかみでは、このような調整は
難しいからです。

電池も棒状の握りの内側に入っているのが見えます。

私はそのあまりにも安っぽい外見に警戒心を抱きました。シリコン製のバイブとは大違いです。固そうなプラスチック製なのも気に入りませんでした。女性器に挿入して怪我でもしたらどうするのか、という気持ちでいっぱいでした。

ところが、彼は私の不信感などお構いなしでした。

「これは昔からある道具なんだけど、これ以上のバイブを探すのが難しいぐらい出来が良いんだ」

とベタ褒めなのです。そこで仕方なく私はアメバチを使うのに同意せざるを得ませんでした。

彼は『アメバチ』か動くかどうか確かめた後で、コンドームをかぶせました。私はその意味が分からず、思わず彼に尋ねてしまいました。

「どうしてコンドームをかぶせるの？」

「衛生管理だよ。バイブをそのまま女性器に入れると汚れるから、ペニスと同じようにコンドームをかぶせるんだ。あちらは避妊が目的だけど、バイブがただ汚れないようにするのが目的だけだね」

「あの、私、コンドームをかぶさないでバイブを使ってるんだけど……」

「へ？ 掃除はどうしてるの？」

「水洗いしてる」

「それだけ？」

「うん」

「それは駄目だね。基本的に膣内へ挿入する道具は、全部コンドームをかぶせた方がよいよ。どんな病気に感染するか、わかったもんじゃないからね」

「今まで大丈夫だったけど、駄目かな？」

「止めておいた方がよいね」

私は彼との会話を通じて、バイブの衛生管理について、初めて真面目に考えるようになりました。彼は私とこんな会話をしながら、どんどん身体を麻縄で縛っていきます。両腕を縛られ、身動きできない状態にされた私の両足を開かせた彼は、ローションを『アメバチ』にたっぷり塗って、女性器に挿入しました。

固い道具を入れられて、苦痛を味わうと想像していた私は目をつむりましたが、そのような感覚はまったくありませんでした。

（あれ？ 痛くない……）

たぶん、私は不思議そうな顔つきで彼を見ていたような気がします。しかし、それは一瞬の出来事に過ぎなかつ

イラスト／眠井ねる



イラスト／bee



たはずです。何故なら、彼が『アメバチ』のスイッチを回したからです。

彼は私の反応を伺いながら、『アメバチ』でGスポットを刺激し続けました。また、それだけでなく電マも使ってクリトリスも責めました。クリトリスと膣内を同時に刺激される経験は、フリッパーツきバイブでもしたことがあったのですが、その時は上手くいきませんでした。彼は片手に電マ、もう片方の手に『アメバチ』を持って同じことをしていたため、フリッパーツきバイブに比べると、ずっと正確に両方を刺激することができました。

縛られた状態の私は同時に与えられる刺激を拒むことが出来ず、何度も強制的にイカされました。そのうち下半身が急に重くなり、オシッコを漏らすと動けなくなりました。腰が抜けてしまったのです。

「おおー、腰が抜けるまでイッたか」

私の様子がおかしいのに気づいた彼は、満足げな笑みを浮かべてプレイを中止してくれました。しかし、『アメバチ』を女性器から抜いてもらったにもかかわらず、私はイキつづけました。ほんの少しの刺激だけで、下腹部が勝手に痙攣してしまうのです。お陰でプレイが終わってラブホテルを出て、部屋に戻るまで大変な思いを



しました。階段を降りている最中に、下腹部にちょっと力を込めるだけでイッてしまうからです。この現象が収まるのに、たぶん数時間はかかったと思います。

こうしたプレイを何度か経験した後で、彼に譲ってもらったのが今使っている『アメバチ』です。使い方は前のバイブと同じで、右横臥位の姿勢で女性器に挿入します。

以前との一番の違いは挿入前にコンドームを使用していることで、これは彼の忠告を聞いてするようになりました。また、バイブだけでなくローターやその他の道具にも、できるだけコンドームをかぶせて使用しています。



小型ローター

♥インスピレーション

（シンプルでハイクオリティ、欲しい機能が詰まったローターです。超静音マイクロモーターを採用しており、音は静か。またお風呂でも使える防水設計です。ボディは高級感のあるマッドコーティングでピンクとブラックの全二色。左写真はピンクです）



マイクロモーターで駆動する小型ローターの存在はアダルトショップに行った時から知っていましたが、買うつもりはありませんでした。振動する部分が小さすぎたからです。

私の道具を使ったオナニーは電マから始まっていきます。電マの良いところは、振動が強いこととヘッド部分が大いこと、少しぐらい感じるポイントからずれて当てても問題なくイクことができます。

でも、超小型のマイクロモーターで動くローターは、小さいものだと豆粒ぐらいの大きさしかありません。そうなるオナニーをする時、確実に感じる部分に当て続ける必要があります。性的に興奮していたり、スマートフォンで漫画や小説を読みながらオナニーをしている時、冷静に行動することは不可能です。そこで、私はこのラブグッズを常に無視していました。

そんな私に小型ローターの使い方を教えてくれたのが今の彼氏でした。彼から小型ローターを使ってみないかと私に持ちかけてきたのです。

「小さすぎるから、ちゃんとクリトリスに当たらないだろうし、無理だよ」

と私が断ると、彼は首を振って笑いました。

「違うよ。お尻の穴に入れるんだよ」

彼の答えを聞いた私は、

（は？ お尻？ どういうこと？）

と頭の中が？マークでいっぱいになりました。ポイイズラブという男性同士の恋愛やセックスを描いた作品を読んでいた私は、アナルセックスという性行為があることは知っていました。場合によってはバイブをアヌスに挿入することも知っていました。ですが、小型ローターをアヌスに入れるという話は初耳でした。

興味津々になった私に、彼がその使い方を教えてくれました。

「あれはね、コンドームに入れた状態でアヌスに挿入して使うんだよ」

「え？ それだけで気持ちよくなるの？」

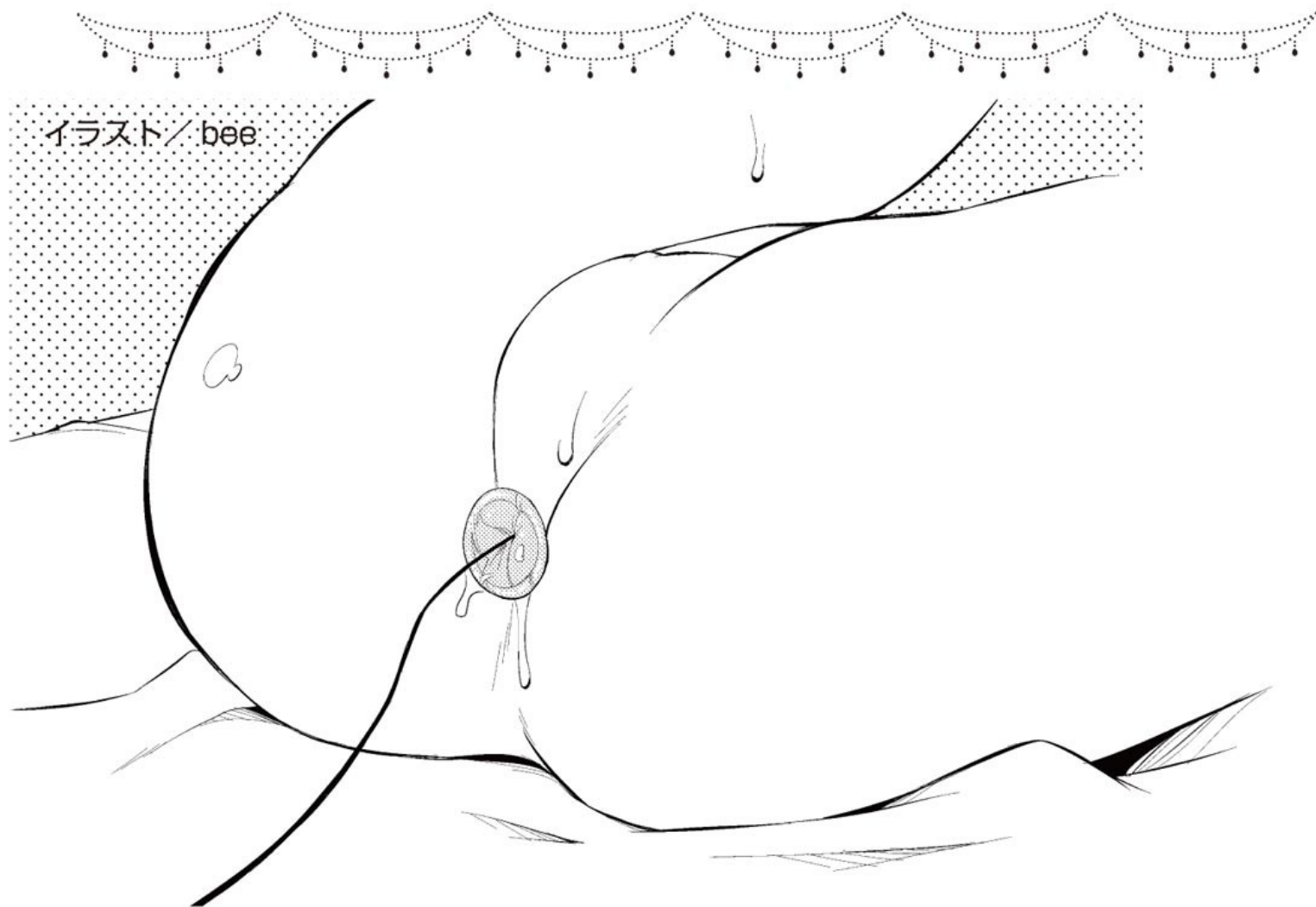
「男性が前立腺を刺激する場合は、それだけで気持ちよくなる場合もあるみたいだよ」

「私は女性なんですけど」

「女性の場合は、お尻の穴にローターを入れた状態でセックスするんだよ」

「嘘？」

お尻の穴にローターを入れた状態でのセックスは、私



がまるで想像していない行為でした。私が信じられないという顔を見ると、彼は「じゃあ、やってみる？」と誘ってくれました。

彼が持ってきたのは『インスピレーション』という小型ローターでした。私はラブホテルのベッドに仰向けの姿勢で横たわり、膝を胸に抱えました。彼の話によると、肛門と直腸の角度が足を曲げた角度で変わるそうで、直立している姿勢だと九〇度ぐらいなので異物が入りにくいのに対して、膝を胸につけるぐらい曲げると一三〇度ぐらいまで伸びるので、異物が入りやすいのだそうです。私はその姿勢でじっとしていると、彼がローションを塗った指を肛門に入れてきました。

私は経験したことの無い感覚に身体を縮めたのですが、痛みはまったくありませんでした。

「大丈夫か？ 痛くない？」

彼は私が痔かどうかを確かめるために、ゆっくりと指を動かし、大丈夫だと判断したのか抜きました。そこで私は彼が指にコンドームをはめているのを目にしました。大腸菌が指につかないようにするための方法なのだそうです。

同じ理由でローターの振動部にコンドームを填めた彼

イラスト/しいなシン



は、それを私の肛門に挿入しました。指よりも小さな振動部はあっさり私のお尻の穴に入りました。異物感はありませんでしたが、苦痛はありませんでした。

「全然痛くなかったらどう？」

「はい」

「これだけ小さいと、アヌスを拡張する訓練も必要ないし、使いやすいんだよ」

彼はそういうと、ローターのボタンを押しました。ローターやバイブを使った経験はあったので、体内でローターが動く感触は知っていたのですが、お尻で感じるそれは、また少し違ったものでした。これも彼の受け売りですが、腸内は感覚が鈍いのでローターを動かすのであれば肛門の入り口付近が一番良いのだそうです。

それよりも私が驚いたのは、小型のローターが抜けにくいことでした。膣内に入れたローターもバイブも、手で押さえていなければ筋肉の力で外に押し出されていたのに、アヌスに入った小さなローターが外に出てくる気配はありません。

(ああ、こっやれば外に出ないんだ……)

私は手品のトリックを知ったような気持ちになりながら、お尻から伝わってくるローターの振動を味わいまし

た。少しすると、コンドームをペニスにつけた彼が私に覆いかぶさってきます。

お尻の穴にローターを入れたままでするセックスは不思議な体験でした。普通のセックスよりもずっと感じるのですが、後で経験するお尻の穴にディルドやバイブを入れた状態でのセックスに比べると決定的に違うというわけでもないのです。たぶん、膣内にペニスを挿入するたびにローターの振動を感じることでできた彼の方が気持ちよかったかも知れません。

アヌスへの小型ローター挿入は、その後も何度か行いましたが、私にとってはアナルセックスと遠隔ロータープレイのステップになった点が大きかったような気がします。特にこの経験がアナルセックスに対する忌避感をなくしたことがセックスの幅を広げるのに大いに役立ちました。



コ ラ ム ♡ 2
 ラ ブ グ ツ ズ
 の 洗 淨 ● ●

by みお♡

本文にも書いてありますが、私が最初のラブグッズとして電マを使い始めた頃は、道具を洗浄するという考えは一切ありませんでした。電マには防水性がないので、洗ったら壊れるに決まっているからです。また、下着の上からクリトリスを刺激するだけでは、洗う必要性を感じませんでした。

ローターを使い始めた当時も、特に洗う必要性を感じていなかったと思います。ただ、ローションと一緒に使ったり膣内に挿入した場合は、さすがに、

(これ、洗わないと駄目だよな?)

とあってボディソープをつけて洗っていました。これは最初の頃のバイブも同じでした。

意識的にラブグッズの洗浄をするようになったのは、彼の影響が大きいのと思います。彼はまずバイブにコンドームをかぶせておけば、使用後にかぶせていたコンドームを外し、ウェットティッシュで拭くだけで綺麗に出来ることを教えてくれました。私はコンドームを避妊具だとは思っていなかったため、汚れを防ぐ方法として使っているのを見て不思議な気持ちになりました。でも、コンドームは性病予防にも使われるわけで、かぶせておけば汚れる心配はないんですよ。盲点でした。

ただし、すべてのラブリググズにコンドームをかぶせて使っているわけではありません。特にアナルプラグやアナルディルドなど、アヌスに挿入する道具に関しては、小型ローターを除いてコンドームをつけていません。また、膣内に挿入する道具でもゲイシャボールなどはコンドームをしません。

ラブリググズの中で振動せず、金属製でもないものは、水洗いした後で哺乳瓶用の消毒液に浸けて殺菌しています。こうした消毒液には、次亜塩素酸ナトリウムというプールの水を消毒するための物質が入っていて、ウィルスまで殺してくれます。でも、金属は錆びさせてしまうので使えないのだそうです。哺乳瓶用の消毒液は、薬局やドラッグストアで買えます。

機械式で振動するラブリググズは、水拭きして汚れを取ってから乾いたティッシュなどで水分をとった後、改めて消毒用アルコールを浸けたティッシュで拭いて滅菌しています。消毒用アルコールも薬局やドラッグストアで買えます。

ちなみに、ラブリググズ用の洗浄液として売られている、メディカルバイブクリナーやマルチググズクリナーの主成分も消毒用アルコールなのだそうです。ただし、私自身はこうした専用消毒液を使った経験がありません。

殺菌したラブリググズは、他の道具に触れないように、ジップロックのようなビニールの袋に入れるか、サランラップに巻いてから保管しています。

殺菌の一番の問題は、子供のいない私の部屋に哺乳瓶用の消毒液があることです。遊びに来た人に見つからないように、洗濯用の洗剤液と同じコーナーに置いて隠していますが、いつかバレるかも知れません。彼には、

「台所用漂白洗浄剤も似たような成分なんだから、そっちを使えば良いのに」

と言われているんですけど、身体の中に入れる道具を食器の洗浄剤に浸けるのが、どうしても嫌なんですよね。科学的な根拠はないんですが……。



アナルプラグ

♥ボス・シリコンベーシックス

(フォームのモチーフはずばり、座薬。プラグ全体の最大径と最小径の差を可能な限り少なくし、「栓」としての役割よりも「拡張」としての役割を色濃く出した新コンセプトプラグです。直径は四タイプ有)



▲こちらは直径 3.5cm の「BOSS Silicone BASIX III (シリコン ベーシックス 3)」。

アナルプラグもアメバチと同じく、今の彼が私にプレゼントしてくれたものです。アナルセックスをするための前準備として、お尻の穴を広げるのが目的でした。

この頃の私は、小型ローターをアヌスに挿入するところまで経験していたものの、アナルセックスをしようと思うまでは踏ん切りががついていませんでした。

(処女を喪失した時のように、滅茶苦茶痛かったらどうしよう?)

という不安を拭いきれなかったのです。ところが彼にその話をしたところ、

「肛門に処女膜はないよ。痔瘻があるなら事前に触診で確かめられるし、少なくとも今のところは痛くないんだから、広げ方を間違わなければ普通に入ると思うけど」とあっさり論破されてしまいました。確かに肛門に処

女膜はありません。しかし、それでも怯えていた私は、「私が痛いと言っても(アナルセックスを)止めなかったら別れる」という条件を彼に呑ませました。そこで彼が買ってきたのが『ボス・シリコンベーシックス』です。このアナルプラグには四種類の太さがあるようですが、私が最初に使ったものは三・五センチか四センチのいずれかだと思います。

この道具を見て最初にほっとしたのはシリコン製だったことでした。『パリススタイルエール』で既にシリコン製のラググッズを使い慣れていた私にとって、その感触を想像することは容易でした。だから、拒否せず彼の調教に応じました。

アナルプラグの使い方は、基本的に小型ローターと一緒にでした。アヌスとプラグにローションを塗り、膝を胸につけるぐらい身体を丸め、彼にプラグを挿入してもらったのです。ただし、プラグはアヌスにしか使用しないという理由で、コンドームを着けたことはありません。使用後は水洗いした後哺乳瓶消毒用の消毒液に浸けて消毒しています。彼に教わった方法ですが、一番確実に殺菌できるのだそうです。

最初にこのアナルプラグを入れた時は、緊張しっぱなしでした。

(もし、お尻の穴が裂けたら血がドバツて出てくるんじゃないの?)

という妄想に取り憑かれていたのです。けれども、その不安を彼に告げると、

「いや、これぐらいの太さのウンチは毎日していると思うけど」

と、またもやあっさり論破されてしまいました。彼の予想は当たっていました。アナルプラグはするっとお尻の穴に入っていったのです。

お尻の穴が広がっている感覚は確かにありました。しかし、苦痛はありませんでした。

「あれ? 入ってる?」

あまりにも簡単に拡張ができたため、私はつい場違いな感想を漏らしてしまいました。それを聞いた彼が大笑いしたのを今でも思い出します。

こうして、私はアヌスを拡張するために、定期的のアナルプラグを挿入することになりました。しかし、このラググッズはバイブやデイルドなどと比べると短いので使いづらい、という問題を抱えていました。長さが一〇センチぐらいしかないのです。

そこで色々と試行錯誤し、和式便所に座るように床上でしゃがんで、かかとを少し上げた格好が一番入れやすいということに気がつきました。セルフ拡張のペースは、週に一〜二回ぐらいだったと思います。また、これだけでイクのは難しかったため、アナルプラグを挿入した状態で、電マやローターを使ってクリトリスを刺激するのが定番でした。

イラスト / 菊一もんじ



一ヶ月ぐらいかけてお尻の穴を広げる感覚に慣らされた私は、ついに彼とアナルセックスすることになりました。事前におトイレで排便を済ませ、おっかなびつくりラブホテルのベッドに仰向けになった私を、彼はいつものように膝が胸につくまで身体を丸めさせます。

(え？ この姿勢でアナルセックスするの？)

私はてっきりバックスタイルとかワンちゃんスタイルでアナルセックスをすることを思っていたので意外でしたが、彼の説明によると背中全体がベッドに着いていて、アヌスの位置が変わりづらい正常位の方が、後背位に比べるとはるかにし易いとの話でした。基本的に普通のセックスと変わらないのだそうです。

初アナルセックスはヴァギナでの初セックスに比べると、びつくりするぐらい簡単で痛みもありませんでした。お尻の穴からGスポットを刺激されるとイクこともできました。最初にアナルプラグでお尻の穴を拡張されたときよりも簡単にできたので、拍子抜けしてしまっただけです。

それが良かったのか、私はアナルセックスにはまりました。かなり長い間、彼とはアナルセックスをするのが当たり前になっていたぐらいです。また、それに伴って、

私のオナニーライフにも変化が現れました。時間的に余裕があると、アナルオナニーをするようになってしまったのです。ただし、アナルプラグはその目的に使うためには短すぎました。私には普通のバイブと同じように、手で動かすことが出来るラブグッズが必要でした。そのため、今ではこのラブグッズを使うことはありません。



ガラス製 dildo

♥ グラスワンダー

(ズシッと伝わる存在感と、究極のツルツル滑らか感触でオブジェのような輝きを放つ、オールガラス製 dildo。素材には耐熱・耐久で有名な破碎防止素材のパイレックス・グラスを100%使用しています。NO. 1〜NO. 8の全八種類。左写真はは絶妙なカーブを描く両刀タイプの「NO. 6」です)



♥ ガラス製 dildo (正式名称不明)

(ゲイ専用のアダルトショップで見つけたガラス製 dildo。湯煎もしくは電子レンジで加熱して人肌に温めて使用するのが基本です)



ガラス製 dildo はアナルプラグの代用品として、やはり今の彼氏が私にプレゼントしてくれた物です。アナルプラグの項でも説明したように、プラグは全長が短いので手に持って動かすことが出来ないラブグッズでした。そこが不満だった私が、彼に「手で持てるぐらい長いと良いんだけど」と言ったら、満面の笑みを浮かべて持ってきたのがガラス製 dildo でした。

実はこの道具、正式な名称がわかりません。彼の説明によると、職人さんが作った一点モノで、ゲイ専用のアダルトショップで購入したとのこと。どうして彼がゲイ専用のアダルトショップに出入りしているのか謎なんです。説明によるとアナル責め関連のラブグッズはゲイ向けの方が充実しているので、時々調査に行っているのだそうです。ちなみに、似たようなラブグッズとして『グラスワンダー』があるのですが、私自身は使ったことはありません。

さすがの私も、この道具は嫌でした。だって、ガラス製ですよ。もしも、お尻の穴に入れたデイルドが折れたら、ガラスの破片が内臓に突き刺さって、大怪我をするに決まっています。それに、プラスチックよりも固い素材の道具を、身体の中に入れてくありません。

そういうわけで、私は彼の提案を断りました。「その棒が折れて、私のお尻の穴が切れて血がブシャーッと出たらどうするんですか？ 責任とれるんですか？ 無理ですよね？」

と身振り手振りで危険性を訴えながら彼に詰め寄りしました。しかし、彼はゴミ虫でも見るような眼で私を眺めながら、

「折れないから」

と根拠不明な発言で私を黙らせました。私が洪々ラブホテルのベッドに寝転んでいる間に、彼は面白いことを始めました。洗面器にお湯を入れてきたのです。

「何をするんですか？」

「このデイルドを体温と同じくらいまで温めるんだよ」

私の質問に答えながら、彼はデイルドを洗面器に浸けました。どうも、この道具は人肌に温めて使うようでした。ガラスは冷たいモノという先入観があった私には意外でしたが、彼の話によるとガラス製のデイルドはお湯で温めるか電子レンジで加熱するのが正しい使い方なのだそうです。

手で握ってデイルドの温度を確かめた彼は、ベッドの上に乗ると私にいつもの膝を胸に当てるほど身体を丸める姿勢をとらせました。それからデイルドにローションを塗り、私の肛門に押し当てました。

「熱い！」

デイルドが予想以上に温かかったので、私はつい大声を上げてしまいました。しかし、彼は驚きもしなかったようでガラス製デイルドを容赦なく私のお尻の穴に埋めていきました。

それはアナルプラグでお尻の穴を広げられた時とも、アナルセックスをした時とも違う異様な経験でした。熱くて固い棒が、腸の奥まで挿入されたことがわかるのです。

「うわあ……入ってるー！」

私はガラス棒の感触を上手く説明できず、ただ「入っている」としか言えませんでした。

「そりゃそうでしょう。でも、本番はここからだよ」

ガラス製 dildo を挿入した彼は、続いてアメバチを取り出して、それにコンドームをかぶせました。

そういえば、アナルプラグと同じように、ガラス製 dildo にはコンドームをかぶせていませんでした。最初はアナル系の道具は汚れても仕方がないからコンドームをつけないのかと思っていたのですが、単にモーターのない道具は哺乳瓶用の消毒液で消毒できるので、あまり汚れを気にせず使っていただけだったようです。

しかし、その時の私にはそこまでの理由を考える心の余裕がありませんでした。彼が『アメバチ』にローションを塗ってから、私の女性器に挿入してきたのです。

（嘘！）

私は彼のした行為が信じられませんでした。お尻の穴

を広げられていたせいで、女性器は窄まっています。そこをこじ開けるように『アメバチ』が押し込まれたのです。お尻の穴に入ったガラス製 dildo とバイブが、薄い膜を隔てて擦れる感触がはつきりと伝わってきました。

「あーっ！」

私はそれだけで深い絶頂に達し、潮を吹いてしまいました。けれども、彼は『アメバチ』のスイッチを回し、G スポットを刺激し始めました。立て続けにイク経験を私にしたのはこの時が初めてでした。イクと膣とお尻の穴が締まるのですが、dildo が入っているために開きっぱなしになっています。そのせいで、お尻の穴を窄めることができないため、絶頂と絶頂のインターバルが短くなってしまうのです。

イキ過ぎて呼吸困難になった私は最後はただうめくだけになっていました。腰も抜けており、身体を動かすことができません。ようやく彼がバイブとdildo を抜いてくれた時、ベッドは私が漏らしたオシッコでベチョベチョになり、寝ることは不可能になっていました。

彼はあわててハンドタオルを持ってきてかぶせましたが、それでも濡れたシーツが乾くことはありませんでした。

た。一方の私は、ゾンビのように這いずってお風呂場に入り、ぼうっとタイルを見つめていました。自分の肉体が変わったという実感があったのです。また、この日から私のオナニーの方法も変わりました。時間があるときは、お尻の穴を広げてからバイブやデイルドを挿入するようになったのです。ただし、ガラス製の道具は使いませんでした。便利な道具だとわかっていても、恐怖心を克服することは出来ませんでした。



オルガスター

♥オルガスター

（今世紀最大のヒット商品と言われるラブグッズ。男性視点で作られることが多かったラブグッズ業界の中で、初めて「女性の快楽」のために作られました。カラーはオレンジ・クリア・ブラック・ピンク・ブルー・パープル・グリーンの全七色があります）





『オルガスター』は私が使用したラブグッズの中で、アナル系を除けば電マと並んで最もお勧めできるもののひとつです。私がこの道具の存在を知ったのは、ネットがきっかけでした。その売り文句は「女性が開発した」というもので、好奇心をそそられました。

さっそく、今の彼氏にオルガスターについて尋ねたら、「あれは良いらしいぞ。知り合いの女性の大半が使っている」

という答えが返ってきました。そこで私は彼氏と一緒にアダルトショップに行つて『オルガスター』を買いました。このラブグッズには幾つかバリエーションがあります。私が選んだのは『オルガスターBIG』という挿入部が一回り大きいものでした。今までローターやバイブを使ってオナニーをした結果、イッた時の筋肉の収縮によって、膣内から道具が押し出されるのでオナニーを続けられないという経験をしていたからです。

部屋に戻った私は『オルガスター』の箱を開き、電池を入れて動きを確かめました。『オルガスター』の形状は縮めた十手に似ています。膣内に挿入する部分は楕円形のボール状になっており、クリトリスに当たる部分は幅が広く平たい形をしています。また、十手の持ち手に

当たる部分にローターが入っており、ここが振動することによってクリトリスや膣内が刺激されます。ただし、ローターと同じようなローターを使っているため、電マなどに比べると振動は強くありません。

私は彼氏のアドバイス(?)に従つて膣に挿入する部分にコンドームをかぶせ、その上からローションを垂らしました。ゆっくり呼吸をしながら挿入すると、痛みを感じず先端のボールが入りました。指についたローションを拭くために、『オルガスター』から手を離しても抜けません。ちよつと感動しました。

続いて布団に入り、ローターのスイッチを入れて動かしてみます。音もそれほど気になりません。私は恐る恐るローターが振動している部分を持ち、それを天井側に引っ張つて、幅広な部分をクリトリスに当てました。痛くありません。クリトリスを当てる部分の面積が広いので、どんな形状の女性器でもきちんと刺激できるのです。ピンポイントでしかクリトリスを刺激できなかった、フリッパー付きのバイブとは大違いです。しかも、すべて片手で操作ができます。

(これは凄い！革命的！)

私は大喜びしながら、余った手で小説を読んだりスマ

ホを観ながらオナニーをしました。同じようなことは電マでもしていたのですが『オルガスター』に比べるとずっと大きく振動も激しいので、片手で持っているのと疲れてしまい、最後には両手で保持せざるを得ませんでした。

『オルガスター』は振動こそ電マに比べて弱いものの、他の点では優れていました。これでクリトリスオーガズムに達した時に、膣内に入った部分を膣の筋肉が締め付けるのですが、そうするとGスポットが刺激されて、絶頂の連鎖を味わえます。この快感をオナニーで味わうには『オルガスター』を使うしかありません。だから、このお道具は他のラブグッズを霞ませてしまうのです。

また、ネットで検索して知ったのですが、四つん這いで使うこともできました。これも『オルガスター』が膣から抜けにくい構造をしているお陰です。女性が開発したという謳い文句にふさわしく、オナニーの時にどこで不便な思いをしていたかをわかった上でデザインされていることが伝わってくる素晴らしいお道具です。

なお、あくまで伝聞ですが、それまでクリトリスでしかイケなかった女性が、この道具でオナニーしているうちにGスポットでもイケるようになったという体験談があるそうです。性感開発の効果があるのかも知れません。



フリーダム

♥フリーダム

(機能性とは見た目の美しさを両立したカラフルなスティック状の dildo。ピンク色の α (アルファ)・ブルーの β (ベータ)・パープルの γ (ガンマ) の三種類がありますが、各々どれか丸みのある形状で前でも後ろでも自由に使えるアイテムです。左写真は Anal 用にもぴったりなフリーダム β です)



『フリーダム』はガラス製 dildo の代わりに私が見つけた Anal dildo です。透明な素材ですがガラスとは違って柔らかく、割れる心配がありません。ガラス製

デイルドはお湯や電子レンジで体温と同じ程度に温めると使いやすいことは解っていました。が、どうしても「割れて肛門が傷ついたらどうしよう？」という恐怖心を取り払うことが出来ませんでした。

『フリーダム』もいくつかの種類があるデイルドです。私が使っているのは青色で、片方の端がペニスの形状をしており、もう片方の端は先が丸くなった棒状をしています。長さは二〇センチ弱で、恐らくヴァギナにも使えますが、私はお尻の穴にしか使っていません。だから挿入時にコンドームをかぶせていません。

『フリーダム』の使い方は基本的にアナルプラグと一緒です。ただし、プラグの倍近くの長さがあるので、正常位の姿勢でも問題なく使えます。最初にするのはローションを垂らすことです。アナルデイルドにもお尻の穴にも塗って、擦り傷が出来るのを防ぎます。それから膝を胸につけ身体を丸め、アヌスにデイルドを挿入します。挿入後にはいくつかの遊び方があります。一番シンプルなのはそのまま動かすことで、お尻の穴の入り口付近を上方向に押すことで、膣をスルーして尿道にあるGスポットを刺激します。その手順は女性器でバイブを使うのと一緒ですが、お尻の穴が広がっている感覚がある分

だけ、こちらの方が複雑というか気持ちが良いこともあります。

時間的、精神的な余裕がある場合はオルガスターと同じ時に使います。まず『オルガスター』を膣に挿入し、抜けないことを確かめてからアヌスに『フリーダム』を挿入します。人体の構造上は、お尻の穴の方が抜けにくいはずなのですが、膣から抜けにくいような形状をしている『オルガスター』は別で、こちらを先に入れた方が上手くいきます。

『フリーダム』をアヌスに挿入する瞬間、膣に入っている『オルガスター』と薄皮一枚隔ててゴリツと擦れる感触がするのですが、そのショックだけでイッてしまうぐらい強烈な体験です。そのまま『フリーダム』から手を離さず、もう片方の手で『オルガスター』のスイッチを入れてクリトリスを刺激すると、いわゆる三所攻めになります。これももの凄い快感を私に与えてくれます。クリトリス、ヴァギナ、アヌスの性感が混ざり合って、わけがわからなくなるぐらい気持ちが良いのです。

一時期はこの快感が病みつきになって、『フリーダム』と『オルガスター』を同時に使うオナニーばかりしていました。その過程で、私は二つの快感のあり方に気づき

イラスト/菊一もんじ





ました。ひとつは的確にGスポットを刺激できるのであれば、それほど強い力でなくてもイケるといえるものです。もうひとつは、太い道具を挿入した方が連続でイキやすいというものでした。これはガラス製デイルドの項目でも説明したことです。イク時に膣やお尻の穴がすばまろうとするので、そこを太い道具で広げておくと、筋肉が収縮しきる前に道具が邪魔をするため、絶頂に達するまでのテンポというか間隔が短くなるのです。

ひとつめの気づきは後にゲイシャボールやアネロスのテンポを使うきっかけになりました。ふたつめの気づきは、太いデイルドの使用につながっていったのです。



吸着型デイルド

♥リベロソフトリアルデイルド

(ダブルスキン構造と角度調節機能がついた新しいデイルド。ダブルスキンとは二層成形加工で脂肪と表皮を再現しており、表皮がずれる感触は本物のような錯覚を起こさせます。ホワイト・アイボリー・ピンクの全三色があります。左写真はホワイトです)



私がデイルドに興味を持ちだしたのは、ガラス製デイルドで二穴責めされ、それまでのセックスが子供の遊びだったかのようにイキまくる経験をしてからです。そこで私は膣内に挿入するラブグッズは太い方が良いという結論に達しました。二穴責めというのは、同時にヴァギナとアヌスへペニスやラブグッズを挿入することです。これと同じ感覚を女性器だけで経験しようと思ったら、二本のラブグッズを合わせたぐらい太い方が良いでしょうと思ったのです。そして、ラブグッズを選ぶ時に太さにも気をつけているうちに、振動する機能はなくてもバイブより太めのデイルドに興味の対象が移っていきましました。

この当時の私は、既にアダルトショップに通い慣れていて、彼氏と一緒に行く日もあれば、自分だけで行って品定めをする日もあるぐらいにまでなっていました。ローターの項目でも説明したように、女性のアダルトショップ通いには、出口で男性に待ち伏せされるというリスクがあります。また、お店が遠くて買いに行けない人もいるでしょう。だから通販を使う人が大半を占めると思うのですが、私は今でも通販より自分で店舗に行つて買う方が好きです。自分の住所を知られてしまうこと

を、必要以上に警戒してしまうのです。

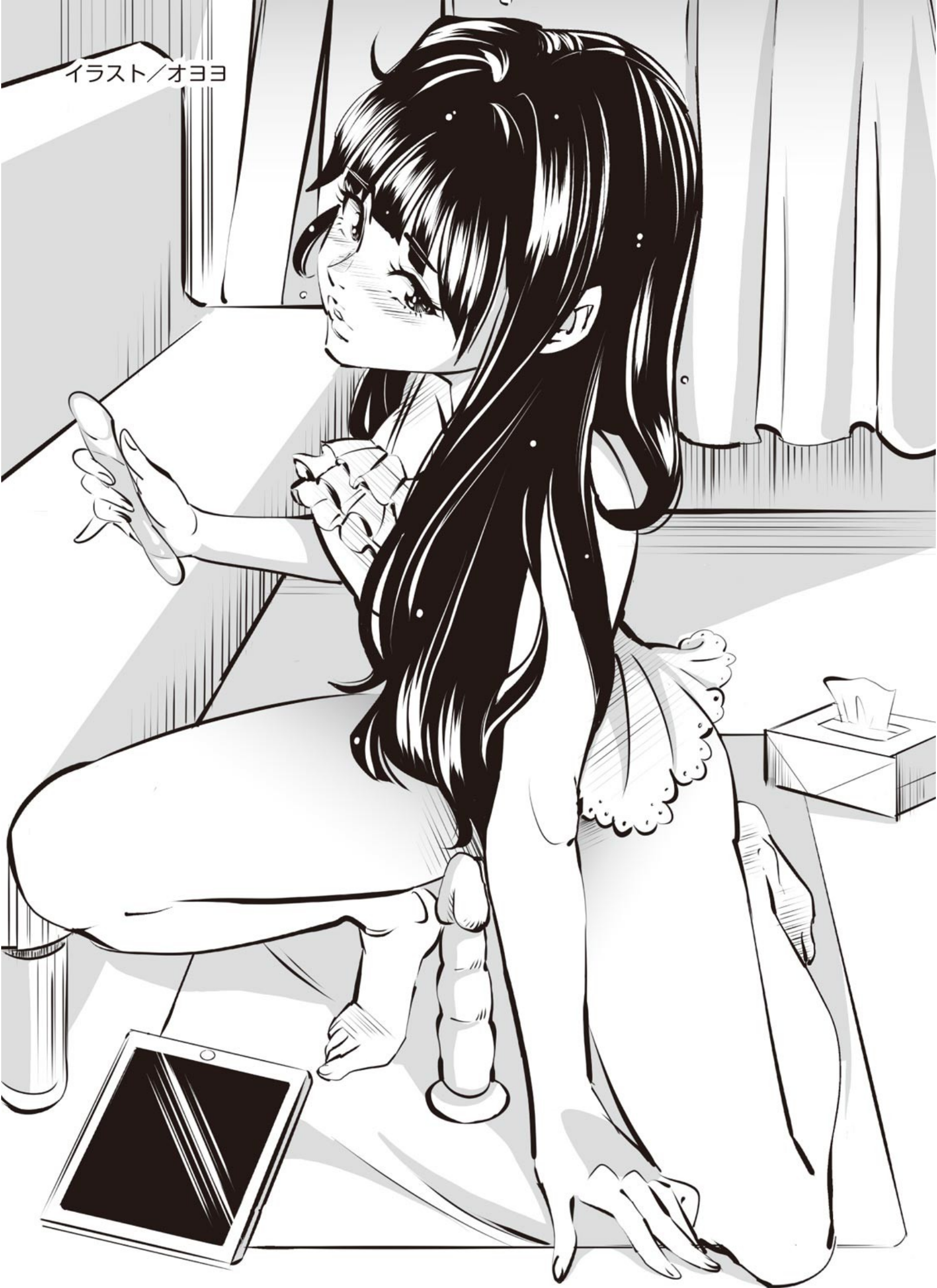
デイルドも自分でお店に行つて、時間をかけ気に入ったものを選びました。ポイントとなったのは太さと触り心地です。彼の調教で固いバイブにも慣れた私ですが、自分の好みでラブグッズを選ぶのであれば、柔らかめというか本物のペニスに近い触り心地が理想です。パッケージの上から触れられるものは、片端から触って感触を確かめているうちに、私は根元に吸盤のようなものがついているデイルドがあるのに気がつきました。

(なんだこれ?)

と思った私は商品の名前を覚え、お店を出てからインターネットで検索しました。そこで私はデイルドには根元に吸盤がついているものがあり、それらは床や壁に吸い付かせて使用するものだとということを知りました。

(これだ!)

オルガスターで片手が自由になる便利さを身に染みて知っていた私は、いくつもの吸着型デイルドの評価をネットで調べ、『リベロ(ソフトリアルデイルド)』を選びました。このデイルドは名前の通り触感が柔らかで男性器に近い一方、中央に背骨のようなジョイントが入っていて角度を変えることが出来ました。



『リベロ』を買った私が最初に悩んだのが吸盤をつける場所でした。思ったよりも吸着力が弱く、壁のような地面に対して垂直な場所につけると、しばらくしてはがれ落ちてしまうことがあるのです。結局、平らで滑らかな床に張りつけ、その上にしゃがむのが一番使いやすいくことがわかりました。

まず床につけた『リベロ』を挿入しやすい角度に曲げ、コンドームをかぶせ、その上からローションを垂らしませす。そこに私が跨がって床に膝をつけ、徐々に腰を落としてディルドをヴァギナに挿入します。上手く中に入ったら、そのまま腰を上下させてオナニーをするのです。

この方法の素晴らしい点は、手でラブグッズを持つていない必要がないことです。その分だけ身体を動かすので、手に比べると荒っぽいのですが、それはそれで本当にセックスをしているような気がして楽しめます。ただ、ディルドはバイブと違って振動するわけではないため、機械的な刺激はありません。どうしてもそれが欲しい場合は、小型ローターと一緒に使います。

まず、彼に教わったやり方で小型ローターにコンドームをかぶせ、お尻の穴に挿入します。それから、垂直に立てたりベロに跨がり、腰を振りながらローターのス

イッチを入れるのです。この方法のオナニーは『オルガスター』と『フリーダム（アナルディルド）』の組み合わせと同じぐらいしていたような気がします。

これよりも更に強い刺激が欲しい場合は、お尻の穴に『フリーダム（アナルディルド）』を挿入して、二穴責めを堪能します。まず、お尻の穴にローションを垂らした『フリーダム』を挿入し、その状態で、やはりローションを垂らした『リベロ』に跨がって腰を下ろすのです。

先にお尻の穴に道具を挿入するのは、お尻の方が入れづらく抜けにくいからです。女性器は男性器を挿入する形になっているので、多少無理をしてもディルドが入ります。というか、お尻の穴を広げたことによつてすばまっただに、無理矢理ディルドをねじ込んでいく感覚がマゾ心をくすぐるのです。

けれども、女性器にディルドを挿入してからアヌスにディルドを挿入しようと思つても、足の角度によっては入らなかつたり、入つてももの凄く痛い場合があるので、『オルガスター』のような特殊なラブグッズでない限り、お尻を先、女性器は後という順番で挿入をした方が成功しやすいと思います。

このオナニーも相当気持ち良く、場合によっては潮

イラスト/しいなシン



まで吹いてしまうのですが、もしもそれより強い刺激が欲しい時は、デイルドを洗濯機に装着します。洗濯機が動いている時の振動が、デイルドを通して女性器の中に伝わってくるからです。この方法はネットで検索中に見つけて試してみたのですが、残念なことに『リベロ』の吸着力ではすぐに落ちてしまうので不可能でした。そこで、やはりネットで吸着力が強いと宣伝されていた『みちのくデイルド』を買って試したら、そこそこ上手いきました。ただ、このデイルドは『リベロ』に比べると本物のペニスそっくりで、睾丸までついているので他の道具と違ってベッドに放り出しておけません。

洗濯機オナニーのやり方ですが、最初に洗濯の準備をして洗濯機を動かします。それからデイルドを洗濯機に対して直角に装着します。その時のコツですが、自分が四つん這いになった時の女性器の高さよりも、やや上につけます。そうすると、膣内にデイルドが入った時に、斜め下に向かって擦れるような感じがしてイキやすくなるのです。

デイルドを貼り付けられたらコンドームをかぶせ、ローションを塗ります。それから下着を下ろした私が四つん這いになって洗濯機に近寄ってデイルドを挿入しま

す。その時の姿勢ですが、両膝と両手を床につける感じですか。その状態で腰を振ると洗濯機の振動が伝わってきます。

洗濯機のふたにデイルドをつけ、洗濯機の上のぼってオナニーをしている女性もいるみたいですが、私はやったことはありません。もしも間違えて洗濯機から落ちたらと思うと、怖くて試す気がしないというのが正直な気持ちです。

洗濯機以外では、冷蔵庫の扉にデイルドを貼り付けてオナニーをしたことがあります。方法は洗濯機と同じですが、ほとんど振動は感じません。

どちらのオナニーにも言えることですが、床よりは不安定な場所なので、そんなに激しく腰を振ることはできません。私がする時は、けっこうおっかなびっくりという感じでしています。どちらかというと、私は床につけてする方が好きです。

ゲイシャボール

♥ゲイシャボール

(入れるだけの膣トレーニングアイテム。こちらは昔、遊女が締めまりをよくするために使用した「りんの玉」というグッズが由来です。進化した「りんの玉」はシリコン100%で肌にもやさしい素材で作られています。レッド・グリーン・ブラック・ピンクの全四色あり。左写真はブラックです)



私が『ゲイシャボール』の存在を知ったのは、ネットにあった「出産後に膣が緩むのを直すのに使う道具」という女性向けの記事で紹介されていたのを読んだからで

す。その記事によると、緩んでしまうのは骨盤底筋、またはPC筋という骨盤の下側にある筋肉で、ここが緩むとお腹に力を込めた拍子に尿漏れも起きるのだそうです。これを腹圧性尿失禁と言います。

(骨盤底筋が緩むと、膣もゆるくなって失禁してしまうんだ)

記事を読んだ私は、自分もそうなってしまいかもしいないと根拠レスに怯えて、彼氏に不安を打ち明けました。しかし、彼から戻ってきたのは、

「あれ？ 膣を締める筋肉は球海綿体筋じゃなかったっけ？」

というものでした。医学知識などまったくない私に、骨盤底筋と球海綿体筋の違いなんて理解できるはずがありません。私がちよつとキレて、

「私に分かるわけないでしょ！ 分かり易く説明してよ！」

と言うと、彼は面白がって調べてくれました。結論から言うと彼の方が正しくて、膣を締めるのは球海綿体筋でした。別名を膣括約筋とも言います。

それでは骨盤底筋が膣と無関係かというところではありません。骨盤底筋は、子宮や膀胱などの内臓を支える

筋肉の総称で、その中に球海綿体筋も含まれるのだそうです。この球海綿体筋は、肛門の筋肉の外肛門括約筋と連結して8の字を描いています。だから、お尻の穴が広がる時、それに引っ張られた球海綿体筋が縮まるのだそうです。

尿漏れと膣の締まりに関係があるとわかったのは、先ほど説明した腹圧性尿失禁を改善する目的で、ゲーゲルというアメリカのお医者さんが一九四〇年代に開発したゲーゲル体操を続けて行っていた女性の中から、ヴァギナオーガズムの満足感が増したと報告する人がたくさん出てきたからでした。

ヴァギナオーガズムが可能な女性なら、イキそうになった時に膣を意識的に締めると簡単にイケたという経験があると思います。私もそうです。だから、

(このゲーゲル体操を続けていると、今よりずっとイキやすくなるかも)

という野望というかチャレンジ精神に突き動かされた私が、実際に試してみようという気持ちになったのは、ごく自然の成り行きでした。

ただし、ネットで調べるとゲーゲル体操の方法が幾つも見つかるので、どれが正しいのかがよく解りません。

色々と試行錯誤した結果、私が良いと思ったのが次の方法です。

(1) 立った状態で両脚を肩幅ぐらいに開きます。

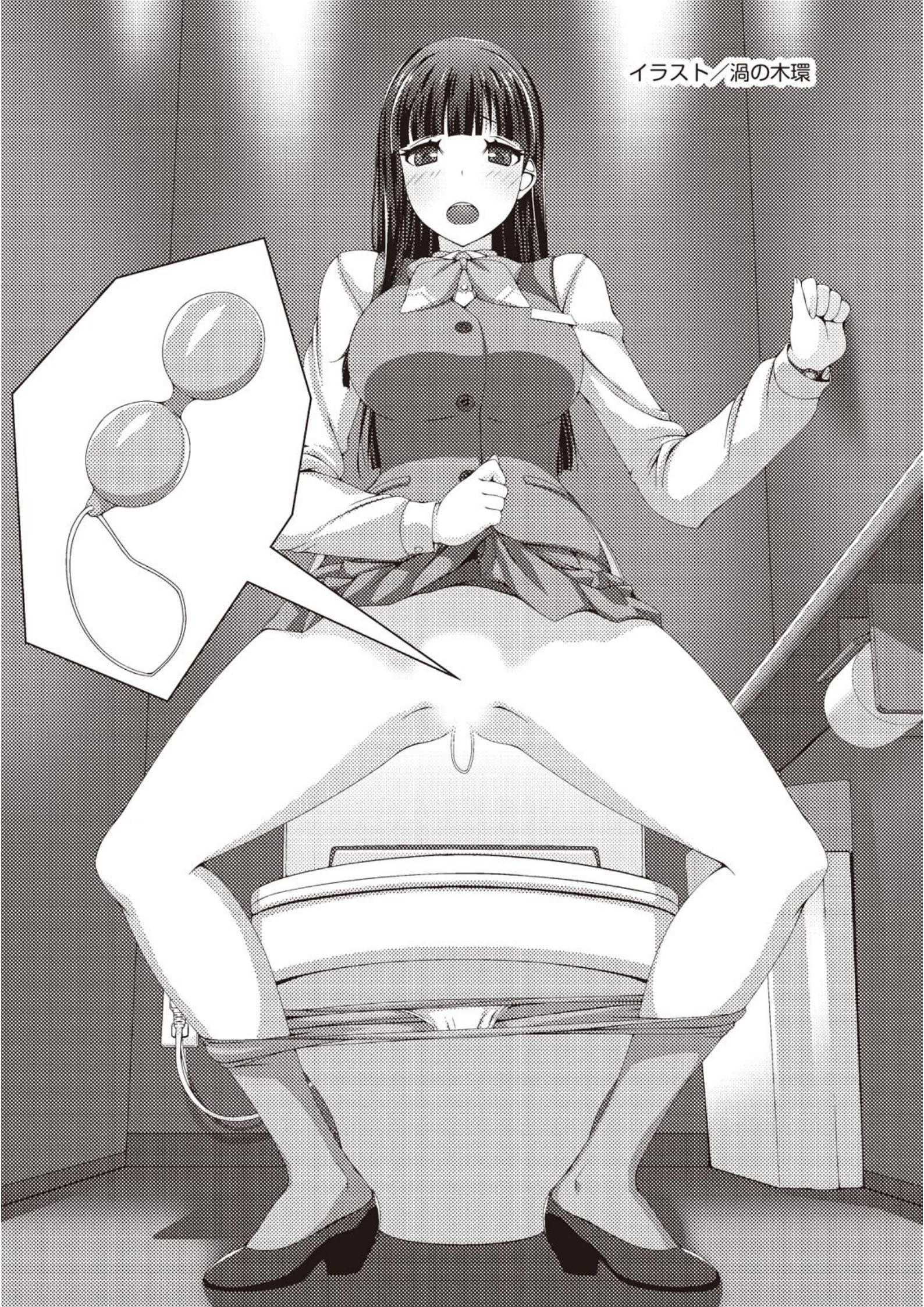
(2) 腹式呼吸をします。まず、息を吐きながらお腹を引っ込めます。次に息を吸いながらお腹を膨らませます。これを何回か繰り返しているとリラックスした状態になるので、ここからゲーゲル体操を始めます。

(3) 膝を軽く曲げてゆっくり息を吸いながら、膣を上に取り上げるようなイメージで締めていきます。最初は五秒ぐらい時間をかけると言われています。

(4) 膣を締めたまま息を止めます。時間は同じく五秒ぐらいです。

(5) 息を吐きながら膣を緩めます。これも時間は五秒ぐらいです。

(6) (1) ~ (5) を何回か繰り返します。私は二〇回



を目安にしています。

この方法は仰向けに寝転んだ姿勢や座った姿勢でもできますが、私は立った状態であるのが一番やりやすかったです。ただし、腹圧性尿失禁にトレーニングの効果が出るまで最低でも三ヶ月はかかるそうです。

『ゲイシャボール』は、このゲーゲル体操を行う時に補助器具として使います。バイブほどではありませんが、種類が幾つもある中で私が使っているのはボールを二個連結したような形をしたものです。このボールの中には更に小さなボールが入っていて、動かすと中のボールも動いて内側から膣を刺激します。

ボールの挿入にはローションを使っていますが、コンドームをかぶせることはありません。かぶせて使っても問題ないのかも知れないのですが、私自身はその方法で『ゲイシャボール』を使った経験がありません。

それで、このボールの効果はどうだったのかというと、挿入してゲーゲル体操を始めるとすぐにイケてしまうのでよく解りませんでした。たぶん、ヴァギナオーガズムに達しやすい人は、何度か使っただけでイケるようになると思います。『ゲイシャボール』を膣内に挿入し

て、息を止めながら球海綿体筋を締めると、ボールがGスポットに当たって絶頂に達してしまうのです。

このように、手を使わないでオナニーが出来る点が凄く便利だったため、私は『ゲイシャボール』を挿入してから仰向けに寝転がり、スマホや本を見ながら球海綿体筋を締めたり緩めたりすることで、何度でもイクことができるようになりました。立った状態に比べるとイキづらいたのですが、それでもイケるのは、球海綿体筋を締めることがヴァギナオーガズムを味わう大切な条件だからでしょう。

ところが、これをやり続けていると、何度もイッてリラックスし過ぎてしまうようで『ゲイシャボール』を膣内に入れたまま寝落ちしてしまうのです。この器具の注意書きには長時間にわたる使用を慎むようにと書かれています。オナニーに使うと守れないことが多いのです。

また、『ゲイシャボール』を使ったゲーゲル体操でイケることがわかった私は、刺激のある遊びを思いついてしまいました。『ゲイシャボール』を挿入した状態で外に遊びに行つて、屋外でゲーゲル体操をすることで、たくさんの方がいる中でオナニーしてみたのです。

結果は大成功でした。私は休日にも有名な都内のある公

園に行き、ベンチに座った状態で何度もイキました。『ゲイシャボール』はモーターで動いているわけではないので、音を気にする必要がないのも大胆になれた理由ですが、やはり手を使わなくて良いというのが大きかったような気がします。

そこで調子に乗った私は、更に刺激を求めました。『ゲイシャボール』を挿入した状態で会社に行って、休み時間におトイレでゲージル体操を試みました。私は見事にイクことができました。また、この経験がきっかけで、露出好きという自分の性癖にも気がつきました。

他人がすぐ近くにいた方が、独りでするよりも強い興奮を味わえたのです。



アネロス テンポ

♥アネロス テンポ (ANEROS TEMPO)

(アネロス製品は医療特許を取得した、ハンズフリーで前立腺を的確に刺激するマッサージ器です。医療用ステンレス製で電池の振動といった外部の力を一切利用せず、仕組みは非常にシンプルですが、効果は絶大です。中でもテンポは直腸前壁のみで強烈なオーガズムを誘発させる男女兼用の製品です)



アネロス社の『テンポ』は『ゲイシャボール』を膣内に仕込んで外でオナニーをするという、けっこう変態的なことを始めたのがきっかけで使うようになりました。

彼にその話をしたところ、

「じゃあ、アネロスでも同じようにイケるんじゃないか？」

と言われたのです。

アネロスはアメリカの泌尿器科医であるジロー・タカシマが開発した、直腸に挿入して古い前立腺液（膿性分泌物）を尿道口から排出させるためのアイテムの名前です。ただし、元々はエネマグラと呼ばれていたそうです。この道具には、前立腺液を定期的に出すことによって前立腺肥大を予防する目的があったのですが、すぐに前立腺刺激によるドライオーガズムを味わうのに適した道具であることも明らかになり、やがてラブグッズとしての利用度が高まったそうです。ゲーゲル体操によく似ていますよね。

その間に商標登録の関係で、現在では光漢堂から発売されているものをエネマグラ、元々の開発者であるジロー氏が創業したH I H社の製品をアネロスと呼ぶようになりました。

しかし、アネロスが刺激するのは前立腺。前立腺でオーガズムに達せるのは一部の男性のみで、女性の私に関係はありません。

そこで彼氏に、

「でも、そのアネロスって男性用のラブグッズですよね？」

と確認したら、

「いや、テンポというアイテムはユニセックスだよ。それに、Gスポットって女性前立腺のことだよ。知らなかったの？」

という衝撃的な答えが返ってきました。

「えー！」

女性には前立腺がないと信じていた私は、驚いて大声を上げてしまいました。

彼氏の説明によると、女性前立腺は男性の前立腺と同じように、尿道を取り巻くように存在しているのだそうです。ただし、男性の前立腺がクルミのような形をしているのに対して、女性前立腺はちくわのような形をしている点が違うそうです。

尿道が男性器の中を通っているのに対して女性の尿道は短く、その下に膣があります。この膣から尿道を囲んでいるちくわのような女性前立腺を刺激することが、ヴァギナオーガズムをもたらします。要するに、男性のドライオーガズムと女性のヴァギナオーガズムは同じな

イラスト/眠井ねる



んだそうです。

女性前立腺は女性の尿中に前立腺液と同じ成分が含まれていたことから確実視され、電子顕微鏡での観察によって発見されたそうです。それなのに、どうして女性前立腺の存在があまり知られていないのかというと、その理由はよく解りません。彼の推測によると、女性に男性並みの性欲があることが許せない、または信じられない人達が無視し続けているだけではないかとのことでした。そのせいで、女性はヴァギナオーガズムに達せないとか、Gスポットをクリトリスの隠れている部分だと勘違いしている人も結構いるとのことでした。

ただ、アネロス社は女性前立腺についても知っていたようで『テンポ』というアイテムは男女共用として開発されたようです。だから、女性が使っても問題なく女性前立腺を刺激できるだろうというのが彼の予想でした。

私は女性前立腺という新しい知識にちょっと興奮して、実際に『テンポ』を試してみることになりました。アダルトショップで彼に買ってもらい、自室に戻って箱を開けると、中には先端が膨らんだ金属製の短い棒が出てきました。

（金属？ 中に入れて刺さったらどうするの？）

ガラス製デイルドを思い出した私は、あわてて彼に連絡しました。すると、

「金属製でも丸ければ刺さらない。お湯で体温と同じくらい温めてから挿入すること。コンドームはつけなくても大丈夫」

というアドバイスが戻ってきました。確かに金属製でも尖っていなければ怪我をすることはないのでしょう。また、そうしたアイテムを会社が意図的に発売するはずがないのもわかります。

しかし、です。もしも万が一、万が一尖っている部分があつて、それがお尻の穴に刺さったら……。

私はおののきながら、お湯を入れた洗面器に『テンポ』を浸けました。彼のお金で買ってしまつた以上、「ごめん。やっぱり怖いから使えない」とは言えなかつたのです。

『テンポ』は一分も経たず温まりました。後で彼から聞いた話によると、金属は熱伝導率が高いので温まりやすいのだそうです。

お風呂場からベッドに戻った私は、下着を脱ぐとアナプラグを入れた時と同じように、膝を胸につけるほど身体を丸め、ローションを塗った『テンポ』をお尻の穴

に入れました。プラグよりもずっと細い道具は、何の痛みもなしに身体に呑み込まれていきます。ただし、温めであるのと大きさの割りに重いいため、『テンポ』の感触が消えるわけではありませんでした。

準備ができた私は、立った姿勢でゲージル体操を始めました。『ゲイシャボール』なら、これだけでイクことができます。息を吸いながら膣を引き上げるイメージでお尻の穴を締め、しばらくしたら緩めるといふ動作を何回かしていると、私の下腹部がビクッと動きました。同時に女性器から愛液がぱーっと溢れてきます。イッたのです。『ゲイシャボール』ほどではありませんでしたがビクッりました。

それから椅子に座ってゲージル体操、さらにベッドの上に仰向けの姿勢で寝転んでゲージル体操を試してみたところ、お尻の穴をぎゅっとすぼめれば、どんな姿勢でもイケることがわかりました。ただし『ゲイシャボール』ほどGスポットを刺激する面が大きくないので、何かの拍子に道具の位置がずれてしまうと、途端にイキづらくなります。

それでも、私にとって『テンポ』は『ゲイシャボール』と同じぐらい大好きなラブグッズになりました。音が出

ず両手が自由に使えるので、外でもオナニーができるからです。ネットで調べたところによると、男性でも『テンポ』を使って屋外でドライオーガズムを味わっている人が何人かいました。

私が特に好きなのは、座った姿勢でお尻の穴を締めて、『テンポ』でGスポットを刺激する方法です。『ゲイシャボール』よりも刺激は強くない場合が多いのですが、焦らされているような感じがたまりません。



コ ラ ム ♥ 3
ラ ブ グ ツ ズ
の 収 納 場 所

by みお♥

大学時代から独り暮らしだった私にとって、ラブグッズの収納場所はそれほど深刻な問題ではありませんでした。時々、上京した母親がマンションを訪れるぐらいで、室内を物色されることはまずなかったからです。電マはベッドの下、ローターは枕の下で、ローションはこぼれても大丈夫なようにビニール袋に入れて台所付近に置いていたような気がします。

ところが最初の彼氏とつき合うようになってから、グッズの隠し場所に困りました。特に電マは大きかったので、タンスのTシャツが入っている引き出しの奥に突っ込んで、その上から丸めたTシャツを乗せて隠していました。下着を入れる引き出しに隠そうとも思ったのですが、万が一彼が下着フェチだったらと思うと、危なくて一緒に出来ませんでした。そこで一番色気がなさそうなTシャツを置く場所に隠そうと決めたのです。

その彼氏と別れてからはラブグッズの数が増えたので、電マだけだった時とは違った意味で保管場所に困りました。色々と考えた結果、鍵をかけられるスーツケースを買ってきて、この中に道具類を入れています。今の彼氏はラブグッズに嫌悪感がまったくないので、隠す必要がないのはとても楽です。

また、室内にそのまま置いてあるラブグッズもあります。た

たとえば『テングデルタ』はスーツケースにしまわず、机の引き出しに入れてあります。この黒い三角形をした道具はラブリグズに見えないので、わざわざしまっておく必要を感じないからです。

逆に必ずスーツケースに入れているのが、誰がどう見ても男性器にしか見えない『みちのくデイルド』です。これだけは、何があっても人目に触れないよう注意していますね。

他に保管で気をつけているのが電池です。道具に電池を入れたまま長期間放置しておくことで、電池が液漏れを起こして道具が壊れてしまうので、使わない道具からは電池を外しておくのが良いと教わったのですが、私は面倒臭いので日立マクセルの液漏れ防止設計電池をできるだけ使うようにしています。お陰で一度も液漏れのトラブルに遭ったことはありません。



♥TENGA△テングデルタ

「捻って使う」という発想で、スポットを的確に責められる利便性の高いスティックローター。ボディ半分から少し上辺りに斜めに切れ込みが入っており、ここを支点に捻ると「テングデルタ」を一回転することができます。捻るとちょうど『くの字』の形になり、Gスポットを刺激するのにピッタリです。動作は一パターンの振動でON/OFFのみというシンプル設計。切れ込みから上は生活防水仕様なので、ローションがついても大丈夫です。





金属製デイルド

♥メテオール33

(重量感を感じさせるとスチール製のデイルド。先端からいきなりマックスの圧迫感を体感することができ、持ち手となるグリップ部分もしっかりと握れる形状をしています。また本体が若干湾曲しているのも、オナニーに便利です。シリコン製品と違い、本体の伸縮は一切ないので、本格的なアナル調教を目的として使用することが可能で、強烈な圧迫感を体感できます。デイルドだけでなく金属製のアナルプラグやストッパー、貞操帯もあります)



金属製のデイルドは私が望んで試したラブグッズではありません。むしろ、彼氏に頼み込まれて使い始めたもののひとつです。

ある日、上野でデートした私達は食事をしてから秋葉原まで歩き、勢いで有名なアダルトショップ、秋葉原ラブメルシーに立ち寄りました。このお店の地下一階は、どちらかというとアナル関係のアイテムが置いてあるのですが、レジの脇にあるショーケースには金属製のものがずらっと並べられていました。

それらはラブクラウドという国内のメーカーが開発した、メテオールシリーズという金属製ラブグッズのラインナップで、その中には非常に凶悪な形をしたものが何本か置かれていました。見た目がスターオーズに出てくるライ○セーバーそっくりな柄のあるデイルドで、銀色に光り輝いています。

「いいなあ、これ」

彼は子供のようにショーケースに張り付き、メテオールを眺めていました。嫌な予感しかなかった私は、彼を引っ張って一階に戻ろうとしたのですがテコでも動きません。案の定、彼はお店の人に頼んでケースの中に置いてあったデイルドを出して貰い、それらを持ち比べつ

つ私に向かってニコニコと屈託のない笑みを浮かべました。

どう見ても、私に使う気満々です。

「どっちがいい？」

二本まで絞ったデイルドを彼から渡された私は、先端が大きくない方を選びました。それが『メテオール33』です。ちなみにこのシリーズは80番台まで存在するそうです。支払いを済ませた後で持たせてもらったのですが、異常に重くてビックリしました。後でネット検索したら、長さは三三センチ、重量は一キロ以上であることが判明しましたが、そんな情報を知らなくても手にしただけで、（こんなの普通の女性じゃ持てない！ どう考えても男性用でしょ）

という感想しか浮かんできませんでした。メテオールのシリーズにはコックリングがあったので、製作者は男性が使うことを前提にしていると思います。一キロって自室にあるエクササイズ用のソフトダンベルと同じ重さですよ。こんなものでオナニーしていたら、メキメキ腕が太くなりますよ。

もちろん私に『メテオール33』を進んで使う気はなく、その日は彼が自宅に持って帰りました。この銀色のデイルドと再会したのは、それから一週間後のことです。その日の私達は軽く昼食をとってからラブホテルへ向かいました。そこでバッグから、彼が『メテオール33』を取り出したのです。

（うわあ……）

改めて触れてみても、この金属製デイルドの重さは変わっていませんでした。彼は洗面所に行って、お湯でメテオールを温めて戻ってきます。アネロステンポで慣れていたもので、金属製デイルドに抵抗はありませんでした。

最初は仰向けに寝た姿勢で、コンドームをかぶせてローションを塗ったデイルドを女性器に挿入されました。温かいので違和感はないのですが、重い棒が身体の中に入ってくる感覚がします。本当に「棒」という感じなのです。これでGスポットを刺激されてイクにはイキましたが、

（これなら普通のバイブの方がいいや）
としか思えませんでした。すると彼が今度は私を四つん這いの姿勢にさせます。

「？」

彼の思惑がわからない私は、ただ言われた通りに四つん這いの格好になり、枕を抱きかかえました。すると、

今度はGスポットを真上から重い棒で突かれる感触がします。私はたまらずイッてしまいました。後背位の格好をした私の女性器に、彼が斜め上から突き刺すような角度で、デイルドの先端を挿入し、Gスポットを刺激したのです。私が重さを感じたのはそのせいでした。

(ウソー！)

私はそう思いながら何度もイカされました。明らかに棒だとわかるもので、絶頂を感じるのは屈辱的でした。私が本気で感じているのを見た彼は、ようやく納得したようで棒を抜いてくれたのですが、その時には私の腰は抜けていました。

ところが、彼は私を責め続けました。再び私を無理矢理仰向けにさせ、膝が胸につくような姿勢をとらせると、メテオールにかぶせていたコンドームを取り替えてから、今度はお尻の穴に挿入してきたのです。

以前にもガラス製デイルドで腸のかなり奥までいじられていた私ですが、それ以上の長さのある金属製デイルドは強烈でした。串刺しという言葉がぴったりくる感覚で、

「あーっ！」

と大声を上げてしまったぐらいです。

彼はお尻の穴にデイルドを根元近くまで挿入すると、次に『アメバチ』を持ち出しました。二穴責めをするつもりだったのです。

「無理無理無理！」

私は首を振って断ったのですが、彼はヴァギナにローションを塗ったアメバチを押し込んでいきます。お尻に入っている金属棒は臆よりも長いので、『アメバチ』を押し込まれると一番奥まで常にバイブとデイルドが身体の中で薄皮一枚隔てて擦れます。

あまりの凄まじい快感に、私は大量の潮を吹いてしまいました。重い金属製のデイルドは手を離してもお尻から抜けないようで、片手が自由になった彼は、今度は二穴責めをしながらクリトリスにローターを当ててきます。こんな三所攻めに私が耐えられるはずがありません。責めが終わってバイブとデイルドを抜いてもらった私は、その場で失神するように眠ってしまったのです。気持ちよかったです……。



双頭ディルド

♥天上天下 双長

(脱着式の双頭ディルド。中央で分割できる
画期的なアイテムです)



双頭ディルドはアダルトショップに行って様々な形のディルドを調べているうちに見つけたもののひとつです。最初は両端が亀頭の形をしているので、

(これ、何に使うんだろう？ レズビアン用？)

ぐらいに思っていました。そこで、彼氏になんとかその話を振ったところ、

「俺は男だし、レズビアンにほとんど知り合いがいないから分らないよ。AV以外で二人以上の女性が双頭ディルドを使っているところを見たことないなあ」という答えが返ってきました。私は女性なのですが、

やはりレズビアンとの知り合いは数えるほどしかいません。また、それほど親しくない彼女達にセックスライフを尋ねたことはありませんし、改めてラブグッズについて質問するのも失礼です。

他の使用例はないのかと彼氏に改めて尋ねると、

「知り合いのゲイ男性がオナニーに使ってるよ。長いから腸の奥まで届くんだって」

という回答が来ました。『メテオール33』で腸の奥までラブグッズが届いた私には、かなり実感のある使い方です。さらにこの話の最後で彼は、

「後は普通に女性がオナニーに使う場合もあるよ。長い

から持ちやすいんでしょ」

と説明してくれたのが、私の好奇心を煽りました。アナルプラグが短すぎてオナニーに使えず、アナルディルドに切り替えた経験をしていたからです。アヌスでも長い方が使いやすいかつたのですから、ヴァギナでも同じように長いラブグッズの方が使いやすいに違いありません。

私はネットで双頭ディルドを検索して、その中から『天上天下 双（長）』を選びました。天上天下は『みちのくディルド』と並ぶ有名なディルドのシリーズで、双頭ディルドは三〇センチぐらいの（短）と、四〇センチを超える（長）の二種類があります。どちらも二つに分けることができるという点が、それまでの双頭ディルドと異なっていて、二つに分けて二本のディルドとして使うことも出来れば、二つに分けた状態で保管すればディルドの長さを持て余さずにするというメリットがありました。

私は長い方の双頭ディルドを選びました。長ければ長いだけ、そのメリットやデメリットが実感出来ると思っただからです。アダルトショップでディルドを買って自室に戻った私は、それを洗って綺麗にしてから片方の先端

にコンドームをかぶせ、上からローションを垂らして準備を整えると、ヴァギナに挿入してみました。

長いディルドは確かに楽でした。二〇センチぐらいのバイブなら、股間に当たるかどうかの場所で手を動かさなければならぬのに、双頭ディルドであれば挿入しているのは反対のディルドを手で握り、ゆっくり動かすだけで済むのです。

私はディルドでオナニーをしつつ、スマホでエロマンガやエロ本を読みました。ディルドはモーターで動かししているわけではないため、布団をかぶって音を殺す必要もありません。ただ、その分だけ刺激は弱く、イクといっても強制的なものではなく、自分で膣の筋肉を締めてイクためのタイミングを作っている感じです。

むしろこのディルドは精神的な興奮を私にもたらしてくれます。ペニスそっくりな形をしているのを目で見ることが出来るからです。長いディルドが自分の股間からはえているような状態で、オナニーをするのはまるで自分がふたなりになったような気持ちにさせてくれます。

ディルドを二本に分割して、片方を舐めながらも片方をヴァギナに入れてオナニーをすることもあります。そういう時に想像しているのは3Pで、事前に二人の男



から犯されるようなシチュエーションの小説やマンガを
読んでおきます。

ただし、もの凄く残念なことに、現実の私が次から次
へと男性が迫ってくるような経験をしたことは一度もあ
りません。あっても彼氏がいるので断るしかないんです
けどね。



コードレス電マ

♥シルフィー

（コードレスでコンパクトなボディの電マ
で、ヘッド部分は抗菌・防臭加工済み。生活
防水機能を満たしているので何回でも洗えて
いつでも清潔に保てます。また最大パワーに
しても、持ち手部分には一切振動が伝わらな
いため、快適に使うことができます。七段階
変速機能も魅力です。ピンク色のタイプもあ
りますが、左写真はブラックです）



コードレス電マは彼が私に買い与えたもののひとつです。初めて使ったラブグッズが電マだったせいか、私はこの道具に対して思い入れがあります。もちろん、今でもオナニーをする時に電マを使います。

だから、コードレス電マの存在を知った時も、（コードレスなのは便利だけど、刺激はどれぐらいなんだろう？ 弱かったらローターがあるしなあ……）

ぐらいの感想しか浮かびませんでした。アダルトショップでこの道具に触れた時の感想も、電マとローターの中間ぐらいの重さと振動というもので、ファーストインプレッションをひっくり返すような革新性は感じませんでした。

だから、彼がコードレス電マをラブホテルに持ち込んで来た時は、

（何で今さら？）

という気持ちで道具に触れました。また、心の中で思ったことを、彼に向かって言いました。

彼の返答は私を呆れさせました。

「いやあ、知り合いのゲイ男性が良いって言っていたんだよね」

「またそれ？ ガラス製のデイルドの時も、双頭デイル

ドの時も似たようなことを言っていなかった？」

「言ったような気がする」

「貴方はゲイなの？」

「ゲイなら君とはつき合っていないでしょ。ヘテロだよ」

「じゃあ、なんでオモチャの話になると男性が出てくるの？ 私が嫉妬しないとでも思っているんですか？」

「男性相手に？」

「相手が男性でもヤキモチは焼きますよ。当然でしょう？」

「いや、まさかそんな……」

「そのまさかですが、何か？」

「俺はゲイじゃないしバイセクシャルでもありません」

「でも、ゲイの人達とラブグッズの話はするのよね？」

「するよ。意見交換は大事でしょ。まあまあ、焼き餅を焼かずに話を聞いてくれよ」

彼は怒る私をなだめつつ、話を続けました。

「その知り合いの男性なんだけど、これをお尻に入れてるんだって」

「こんな太いのを？」

「太いと言っても四五ミリぐらいだよ。アナルプラグが四〇ミリぐらいなんだから、まったく痛くないと思うけ

どね。それに、アナニーの猛者になってくると、普通の電マをお尻の穴に入れてるらしいぞ。それで前立腺をゴリゴリ刺激しているって」

「あんな大きなものを？」

「うん」

私は頭の中で男性のお尻の穴に電マが突き刺さっている図を想像してみましたが、まるで実感が沸きませんでした。ただ、アナルフィストが出来る人がいるのはネットで知っていたので、

「嘘じゃないとは思うけど、想像できない」

と素直に感想を述べました。すると、彼はスマホでネット検索をして、お尻の穴に電マが刺さっている写真を何枚も見せてくれました。中には女性もいます。

「ここまでは無理だから！ お尻の穴にオチ○チンが入っても電マは無理！」

もしも彼がしたかった時に備え、私は先手を打ってアナル電マが不可能なプレイだと宣言してしまいました。

「まあ、ここまでお尻の穴を広げるのは難しいよな」

珍しく、彼も私に賛同してくれます。しかし、この話には続きがありました。

「だから、普通の電マで出来ない人はこういうコードレ

ス電マを使ってるんだって」

「まさかと思えますけど、それを私のお尻の穴に使うつもりですか？」

「最初はオマ○コの方で使って、問題なかったらお尻の穴でもしてみようよ」

「まあ、それなら……」

こうして、私は値引き交渉の上手いお客さんに引っかけた売り子のように、彼のしたがついていたプレイに協力することになりました。よく考えると、彼は最初からコードレス電マしか持ってきていないのだから、普通の電マをアヌスに挿入するのは不可能だったのですが、その時は目にした写真があまりにも強烈すぎて、とてもそんなことを考えるだけの冷静さはありませんでした。

この時に彼が持ってきていたのが『シルフィー』でした。普通の電マはヘッドの部分が半円球で、女性器やアヌスに挿入すると縁の部分が引っかかってしまうのですが『シルフィー』は球状に近いため、そのような事故が起きにくい形状になっているとのことでした。要は初めからヴァギナやアヌスに挿入できるように作られているということでした。

『シルフィー』のヘッド部分にコンドームをかぶせた

彼は、上からローションを塗ってまず私のクリトリスに当てました。印象通り、ローターよりはずっと強力ですが電マよりは弱い振動です。私は目をつむり、コードレス電マの刺激に身を委ねました。少しすると、彼が『シルフィー』を私の女性器に挿入してきます。

「！」

ヘッドの部分がGスポットに当たった途端、私の下半身が痙攣を起こしました。強い刺激でイッてしまったのです。それなのに、電マはずっと同じ箇所を押し続けます。

「うわーっ！」

我慢ができなくなった私は、盛大に潮を吹きました。しかし、太股の痙攣は止まりません。しばらくすると、完全に腰が抜けてしまい、ベッドから動けなくなっていました。私が限界だと判断した彼は、コードレス電マをヴァギナから抜いてくれましたが、例によってもうベッドはぐっしり濡れていて、寝られるような状態ではありませんでした。

クリトリスへの電マの刺激でも、二穴責めでも潮を吹く私ですが、それと同じぐらいの絶頂感がありました。ただ、ヘッド部分が曲がるので、Gスポットに強く押し

つけても、金属製デイルドのような圧されている感じがなくて、そこが物足りなかったので、自分から積極的にこの道具を使おうという気にはなれませんでした。

自分の噴いた潮を避け、ベッドの隅でほんやりしている間に、彼はハンドタオルを使ってシートから体液を吸い取らせていました。そして後始末が一段落すると、今度はバッグからアナルプラグを取り出しました。

（うわあ。本気でやるんだ）

と思いましたが、腰が抜けていて抵抗が出来ません。私は彼のなすがまま仰向けに寝た状態で、膝が胸につくほど身体を丸めさせられました。

最初にお尻の穴に入ってきたのはアナルプラグでした。慣れた太さで十分にお尻の穴を広げてから、いよいよコードレス電マの挿入です。プラグよりもほんの少しだけ大きな道具ですが、固さが違うので彼も慎重に入れようとしているのがわかります。しばらくすると、アヌスから伝わってきた広げられているという感触がふっと抜けました。電マのヘッドが肛門の内側に入り込んだのです。

「行くよ」

彼はそう言うと、コードレス電マのスイッチを押しま

した。次の瞬間、肛門とGスポットを強烈な震動が襲いました。

「ひいっ!!!」

私は歯を食いしばって制御不能の快感に身を任せました。デイルドなどと違って、機械的に振動するラブグッズは、強制的にイカせてくるイメージがあるのですが、お尻の穴に入った電マは、それを何十倍も濃くしたような感じでした。ヴァギナでされたよりも過激な快感に、私はその日二度目の潮吹きをしてしまい、せっかく彼がしてくれたベッドへの応急処置を台無しにしてしまいました。

アヌスへの電マ挿入は、この日のプレイ以来、一度もしていません。気持ちは凄く良いのですが、これでしか感じられなくなったら困るので封印しています。



U字デイルド

♥T G Y O U (トゥーユー)

(二人で二穴責め、二人で両端から同時挿入など、色々な楽しみ方が出来るデイルド。弾力もあり、柔らかく自由に曲げたり広げたりすることが可能です。U字に曲がった部分を持ってピストン運動……など自由に楽しめるのが特徴。色は極彩色のパープルです)



U字デイルドは双頭デイルドがU字型に曲がったもので、ヴァギナとアヌスへの同時挿入が可能なラブグッズです。この道具はアダルトショップで偶然見かけ、その珍しい形状に惹かれて購入しました。正式な名称は『T o You』というそうです。

既に二穴責めに慣れていた私には、この道具の使い方がすぐに理解出来ました。自室に戻った私は道具を洗って綺麗にすると、コンドームをかぶせず直接ローションを塗りました。双頭なので両端にコンドームをつけるのが面倒臭かったのと、デイルドにしては直径が細いため、コンドームをかぶせてもゆるくて使い物にならなかったからです。

まず、細い方の先端をお尻の穴に挿入します。続いて太い方をヴァギナに挿入すると、本当に一本のデイルドで二穴責めができました。しかも、お尻の穴に入れた方が抜けづらいため、片手で前の方だけ動かしていればオナニーが出来ます。これは予想以上に便利です。ただ、振動もせず太さもないので、それほど強い刺激が味わえるわけではありません。

何度かU字デイルドでオナニーをしているうちに私が思い出したのが、彼氏に教わった双頭デイルドの使い方

でした。ゲイ男性は長い双頭デイルドを腸の奥まで入れて愉しんでいるようですが、私も同じことが可能なはずですよ。以前、金属製デイルドで似たような経験をしたこともあります。

そう考えた私は、チャンスがあったらデイルドを腸の奥まで入れてみようかと決めました。お尻にウンチが溜まっている時は酷い結果になりそうだったので、お腹が綺麗になった時に、オナニーをする機会があればやってみようと考えたのです。

それから何週間か経って、おトイレに行った後にオナニーしようとした私は、チャレンジの件を思い出してU字デイルドを選びました。仰向けの姿勢で膝を胸につけるほど身体を丸め、ローションをつけたデイルドの細い方をアヌスに挿入します。デイルドはけっこう簡単に真ん中当たりまで呑み込まれました。先端が肛門を抜けて、直腸に到達しているのがわかります。

(凄い！デイルドが腸まで届いてるのがわかる！)

私はちよつと感動しながらデイルドを奥へ奥へと入れていきました。ただ、元々U字に曲がっているものを、真っ直ぐに伸ばしながら使っているの、真ん中から後を入れるのは大変でした。

それでも無理矢理押し込んでみると、あるところから何かに引っかかったように動かなくなってしまう。後で調べたのですが、デイルドは肛門から直腸を通り、S状結腸につながる部分で引っかかったようでした。

肛門の長さは約三センチ、直腸の長さは十五センチ前後と言われています。私が使ったU字デイルドをまっすぐに伸ばすと二五センチぐらいです。だから、デイルドがS状結腸で引っかかれば、ちょうど手で掴めるぐらいの長さが余るはずなのです。

私は長い双頭デイルドを腸の奥にまで入れられた達成感で、しばらくうっとりしていました。ただし『T o Y o u』は太くないので、これだけでイクのは無理です。お尻の穴から飛び出ている部分を掴んで回すと、U字を伸ばしたせいで、平仮名の「く」の字になっている部分が腸内で引っかかり、腸壁を圧されているような感じがするので、それはそれで刺激的なのですが、もっと強い快感が欲しいという欲求には逆らえませんでした。

私はお尻からデイルドが飛び出しているという、相当みっともない格好で彼からもらった『アメバチ』を引っ張り出し、コンドームをかぶせてローションを垂らししました。そして改めて仰向けの姿勢でベッドに寝転がって

『アメバチ』を女性器に挿入しました。

「うー！」

お尻の穴に入っているU字デイルドと、膣内に入った『アメバチ』が身体の中で擦れる感触に、私は大きな呻き声を漏らしてしまいました。ここはマンションです。オナニーでなくても、大きな声を上げたら隣の人に怪しまれます。でも、こんな気持ちの良いことを止めたくありません。

私は布団をかぶり、声を殺して『アメバチ』を動かしました。そうしていると、とうとう潮を吹いてしまいました。電マオナニーでもオシッコを漏らしてしまっただことは何度もありますが、この時ほど量は多くありませんでした。私は気持ちが良いすぎて、ラブホテルで彼とプレイしている時ぐらいのイキ方をしてしまったのです。

お陰で布団は潮でビショビショに濡れてしまい、後でバスタオルをかぶせても乾いてくれず、大変な目に遭いました。それでも、このオナニーは気持ちが良いので何度か繰り返しています。止められません。



遠隔ローター

♥飛っ子リターンズVer.3
(遠隔ローターの代表商品「飛っ子」の新シリーズ。ローターとリモコンの動作がシンクロし、受け手と送り手が振動をシェアできるW振動が特徴です)



♥ワイヤレスセクシーガーター
(ガーターとワイヤレスローターのコラボレーション商品。ガーターを太ももに装着し、ハートの下部分にあるポケットにローターの受信機を入れて使用します。ハイパワーのローターが遠隔操作で激震します)



遠隔ローターも、私が望んで試したラブグッズではありません。むしろ、彼氏に頼み込まれて使い始めたもののひとつです。

きっかけは、彼の知り合いのアダルトビデオ監督さんでした。彼がその人から遠隔ローターをもらってきたのです。何もしていないのにラブグッズをもらえた理由は、そのローターで撮影が失敗したからというものでした。

女優さんに遠隔ローターを女性器に仕込んでもらい、男優さんがスイッチを入れると振動して女優さんが悶える……というシーンで、ローターがリモコンに反応しなかったのだそうです。

仕方なく、女優さんに演技で誤魔化してもらって事なきを得たそうなのですが、道具を用意した監督さんは大恥をかき、こんなものはいらないと私の彼に与えたようなんです。

その時の私は、
(壊れた道具をもらって喜んでるなんて変なの)

という気持ちでしたが、事情は少し複雑でした。実はこのローター、女性に使わないと正常に作動するのです。それは彼でなくとも理由を知りたくなります。私も彼に頼まれて遠隔ローターが動かなかった原因を調べること

になりました。

遠隔ローターはリモコンとローターがワンセットになっていて、ローター部分は普通のものより二回りぐらい大きく、モーターと電池だけでなくリモコンの受信機まで内蔵されています。

まず、ベッドの上に置いてリモコンのスイッチを入れると、ちゃんと振動し始めました。何もおかしいところは見当たりません。次にコンドームをかぶせ、ローションを塗った上で私の女性器に挿入してみます。すると、リモコンのスイッチを入れてもローターが動きません。彼が言っていた通りです。

一体、何が原因なのか？
膣からローターを抜いて、しばらく考えていた私をひらめきが襲いました。

そこで、ベッドに置いたローターの上から枕をかぶせてリモコンのスイッチを入れてみると、動いたり動かなかったりします。その様子を見た彼も原因に気づいたよう

で、
「リモコンの電波が届いていないのか？」

と言いました。そうなんです。このローターは受信機がローターの内部にあるので、女性器に挿入してしまう



とりモコンの電波を受信しない場合があったのです。

「ふふーん」

珍しく彼よりも賢いことが証明できた私は鼻高々でした。彼も私の考えが正しかったことを認めてくれて、これからは電波受信機が身体の外に出ているタイプを使ってみるように、監督に伝えておきました。

しかし、この話にはまだ先がありました。確実に動く遠隔ローターを探してみたいと彼が言い出したのです。その時の私は、

（私はモルモットじゃない！）

と怒りました。ゲージル体操で鍛えられた私は、『ゲイシャボール』や『アネロステンポ』さえあれば屋外でオナニーをすることなどたやすいのです。遠隔ローターを使う必要がありません。

しかし、彼が報酬として某有名ステーキハウスでの食事をちらかせたので、被検体になることをOKしてしまいました。

ところが、実験はなかなか始まりませんでした。条件に合う遠隔ローターが見つからなかったのです。私も調べてみたのですが、現在発売されている遠隔ローターの大半は、振動する部分と電波を受信する部分が一体化し

ているのです。これでは、膣内やお尻の穴にローターを入れると電波が届かない可能性があります。

同じように、これらの道具のほとんどが充電式でしたが、私は充電をし忘れると使えないラブグッズが嫌いです。これは彼も一緒でした。

「もしも、万が一電池が切れていても、乾電池ならコンビニまで買いに行ける。でも、充電式の場合はそこで諦めなければいけない。だから使いたくない」と言うのです。

そうになると、振動部と受信部が別々で、しかも電池式の道具を探さなければならぬのですが、すでに生産が終了しているようなものしか見つからないのです。その中で、良さそうだと選ばれたのが『ワイヤレスセクシーガーター』でした。

このアイテムは振動部とりモコンの受信部が別々になっていて、単四電池で稼働します。また、受信部と電池を入れるボックスを専用ガーターに隠せる仕組みになっていました。振動部は小型のローターで、ひとつしかないシングルと前後の穴に挿入できるダブルがありますが、私が実験台になったのはシングルでした。

挿入方法は『インスピレーション』などの小型ローター

と一緒に、まず電池を入れて振動するかどうかを確認してから、ローター部分にコンドームをかぶせ、上からローションを垂らしてアヌスに挿入します。お尻の穴にローターを入れるのは、女性器に比べるにははるかに抜けづら
いからです。

まずは自室の近所にある公園に、人数が少ない夜に行って試してみます。公園の奥の方で、人がいないことを確かめてから彼がスイッチを入れると……ブーンという低い振動音と共に、経験したことのある強烈な刺激をお尻に感じて思わずその場に座り込んでしまいました。

さすがローター。快感の質という点も変かも知れませんが、ゆっくりとGスポットを押す感じでオーガズムに達する『ゲイシャボール』や『アネロステンポ』に比べると暴力的です。それでも立ち上がった私は、一、二、三歩前に歩いただけで前屈みになってしまいました。

そして、どうにかベンチにたどり着いて腰を下ろした途端にイッてしまいました。しかも下着が濡れたのははっきりわかるぐらい潮を吹いてしまいました。それなのに、いつものセックスと違って声は出せません。公園に人はいませんが、公園の周りにはびっしり家が建っているのです。

「も、もう、駄目」

私は作り笑いを浮かべ、手を振って彼に実験の中止をお願いしました。彼はリモコンのスイッチを切ってくれましたが、

「何言ってるの。こんな短い実験でステータスは食べさせられないよ」

と言ってベンチから私を引きずり起こし、今度は駅に向かって歩き出します。

(まさか……)

と思っていたら悪い予感的中しました。

電車内での実験です。

それも翌日が休みだったからか、夜の比較的遅い時間なのにけっこう混んでいます。

「無理、無理」

周囲に事情を説明できない私は、やはり引きつった笑顔で彼に訴えたのですが、電車に引っぱり込まれると、ドアの隅に立たされました。

観念した私が歯を食いしばると、彼は私に見せつけるようにしてリモコンのスイッチを押しました。またしても、肛門の内側を凄く刺激が襲ってききましたが、今度は電車なのでしゃがめません。私は下を向いてひたすら

ローターの振動に耐えるしかありませんでした。電車のガタンゴトンという音にかき消され、モーター音は聞こえませんが、これは彼の狙いでしよう。

こうして、最寄りの駅から三つ先ぐらいの駅までローターを動かした状態で電車に乗って、更に戻ってくる時にも同じことをされた私は人前で何度もイキ過ぎて頭がおかしくなっていたのです。

この『ワイヤレスセクシーガーター』に比べると、『飛つ子リターンズ Ver. 3』はちよつと拍子抜けするようなお道具でした。振動部がT字をひっくり返したような形になっていて、膣に挿入するとクリトリスにも振動が伝わるようになっていますが、何故か膣に入れる部分が短くてGスポットに届きません。また、この道具に限らずヴァギナへ挿入するタイプのラブグッズは『オルガスター』を除いて抜けやすいのですが、これも例外ではなく、挿入後に下着を履いただけでは駄目で、その上から更にパンティストッキングを履かないとずれるか抜け落ちてしまいます。

振動は十分に気持ちが良いのですがイクまではいかず、しかも何故かリモコンまで振動するので彼氏がびっくりして、

「何なのこれは？ 遠隔ローターを使っているって、第三者に教えたいの？」

と首を捻っていたのが面白かったです。なお、どちらの道具もそうですが、使われている側がオシッコをしたくなったら、プレイを続けるのは無理だと思います。たぶん、これからも私自身が積極的に使うことはないラブグッズのひとつですね。



麻縄

♥【縄屋】高級麻縄 生成（直径六ミリ／長さ七メートル）

（ジュート100%の高級麻縄。なめし処理済みなので、購入後そのまま使用できます。初心者から熟練者まで男女問わず扱いやすいサイズです）



麻縄は私が自分では使えないので彼氏に使ってもらっている道具のひとつです。要するに緊縛してもらっているわけですが、これなしで彼との関係が今のレベルまで深まる可能性は0%だったと思います。

最初にお話しした通り、今の彼と知り合ったきっかけは写真サークルでした。彼はそこで講師をしていたのですが、コスプレをしている人達とも縁があって、アマチュアのモデルのような女性を呼んで撮影会も時々開いていました。

まだ肉体関係になる前の私は、彼女達の存在が気になって仕方ありませんでした。私よりも可愛い子がいたからです。ただ、彼女でもないのに、

「あの人達とどういう関係ですか？」

と聞いたのですが駄目なもわかっていました。今だから白状しますが、そこで私は搦め手を使うことになりました。同じ写真サークルの男性に、

「××さんって、どうしてモデルさんを連れてこられるんですかね？」

と聞いたのです。彼はオープンな性格で、よほどプライベートに関わることでない限り、どんな質問にでも答えてくれることはサークルのメンバーであれば誰もが



知っていました。そこで私の質問を聞いた男性が、彼に同じ質問をしてくれたのです。

その答えは衝撃的なものでした。

「いやあ、あんまり大きな声じゃ言えないけど、俺はコスプレの撮影をしているだけではなくて、ちよつとエロチックな写真を撮る時に縛りもやるんだよ。だから、そういうのに興味のあるコスプレイヤーさんから声をかけられることがあるんだ。ほら、プロの緊縛師を呼んだらお金がかかるけど、俺ならタダじゃない？ だから、そのついで自分よりずっと若い女の子の知り合いがいるんだよね」

緊縛撮影！ マゾっ気のある私はもう気が気ではありません。何とかして撮影の内容を知ろうとして、記号とかアートとか、そういうサブカル（？）っぽい単語を連呼しながら、写真を見せてもらおうとしました。でも、後から聞いた話によると、その時の私は目が血走っていて、欲望丸出しのマゾ女性そのものだったそうです。彼の方がずっと経験豊富だったのを忘れていました。死にたい……。

しかし、この時に頑張ったお陰で私は彼に気にかけてもらえるようになり、二人きりで会って話をするまで関

係が発展しました。当時の私はまだ正体がバレていないと信じ切っていたので、相変わらずサブカル女子を演じつつ彼とモデルの関係を根掘り葉掘り尋ねていました。

その結果わかったことは、緊縛撮影をする子がセックス好きとは限らない、そもそも緊縛をした相手に体重をかけるような姿勢でセックスするのは怪我の原因になるから無理、だからもしも縛った相手を責めるのであれば大人の玩具、という三点でした。どれもこれも、縛られた経験のない私にとっては新鮮な話ばかりで妄想が膨らみました。

また、予想以上に彼が女性の外見にこだわっていないことがわかったのも幸運でした。映像関係の仕事を続けているうちに、美人には慣れてしまったとのことですが、もしも、この段階でそのことがわかっていなかったら、私は彼を諦めてしまっていたかも知れません。

それから程なく男女の仲になった私は、もう隠さなくても良いだろうと自分の性癖を白状したのですが、とっくの昔にバレていたのは先ほどお話しした通りです。私は顔を真っ赤にしながら、

「私がマゾだってバレているなら、私も縛ってくださいよ」

とお願ひしてしまいました。彼は快く私の願ひを叶えてくれました。この時に私を縛ったラブグッズが麻縄でした。

ただ、この麻縄は私がイメージしていた麻縄、船の係留に使うようなものではありませんでした。麻縄と言っても原材料となる植物に違いがあつて、船の係留や荷物の上げ下ろしなどに使われるのはマニラ麻やサイザル麻、緊縛に使われるのはジュート（もしくは黄麻）なのだそうです。一度だけマニラ麻の縄を触らせてもらいましたが、太い物だとほとんど曲がらず、これで緊縛は無理だと思いました。

では、どうして違う植物をすべて麻と呼んでいるのかというと、それらで作った縄の伸び率が低いからなのだと思います。伸び率というのは、縄や紐を引っ張った時に伸びてしまう程度のことです。伸び率が高い縄や紐は引っ張ると伸びた分だけ細くなるため、緊縛に使うと引っ張られた縄が細くなつて身体に食い込んで、神経を切断する事故を起こすので使えないため、麻縄を使うのがスタンダードになつたのだそうです。

彼が使っているのは、緊縛用に加工され、アダルトショップで発売されている直径六ミリ、長さが七メートル

の麻縄です。この縄を彼が使っているのは、緊縛を覚えるために買った教則本に、この縄を使うようにと指示されていたからだそうです。

また、この本には緊縛用麻縄の作り方も書いてあったのですが、彼はほとんどの麻縄をショップで購入しています。作るのが面倒で、失敗したら嫌だからだそうです。麻縄で初めて縛られた時のことは、今でもよく覚えています。後手縛りという、両腕を背中に回して手首を拘束される基本的な緊縛をされたのですが、興奮のあまり手のひらが汗まみれになりました。私を縛り終えた彼は、しばらくして私の手を触り、

「お！ 君は本当にマゾツ気があるね」

と嬉しそうな声をあげました。彼の説明によると、手首を縄で拘束されると血流が悪くなるので、興奮していないならそのまま手のひらが冷たくなり、興奮しているなら逆に熱くなるのだそうです。そんな判断方法があるとは思っていませんでしたが、自己申告ではなくマゾだと認めてもらえたのは嬉しかったです。

それからは、機会があれば彼に縛ってもらうようになりました。彼が言っていた通り緊縛されると普通のセックスは難しく、セックスが嫌いな女性が緊縛だけを好き

になる理由が理解できました。けれども、私はそれだけでは満足できないのでバイブなどを使って責めてもらいました。特に私が好きなのは、吊られた状態でのバイブ責めでした。吊り責めが出来るように天井から滑車が下がっているラブホテルの部屋で縛られ、吊ると宙を漂っているような気持ちになります。その状態でバイブを挿入されると、イキながら自分がどこにいるのかわからないような錯覚に陥るのです。

後手縛りで上半身を拘束され、その状態でクリトリスを電マ、ヴァギナをバイブで責められるのも好きです。手を縛られ抵抗できないのに、情け容赦なく性感帯をラブリグズで責められていると、オナニーでは決して味わえない深い絶頂に達することがあるからです。たぶん、自分でしている時は知らず知らずのうちに手加減してしまっているのでしょう。

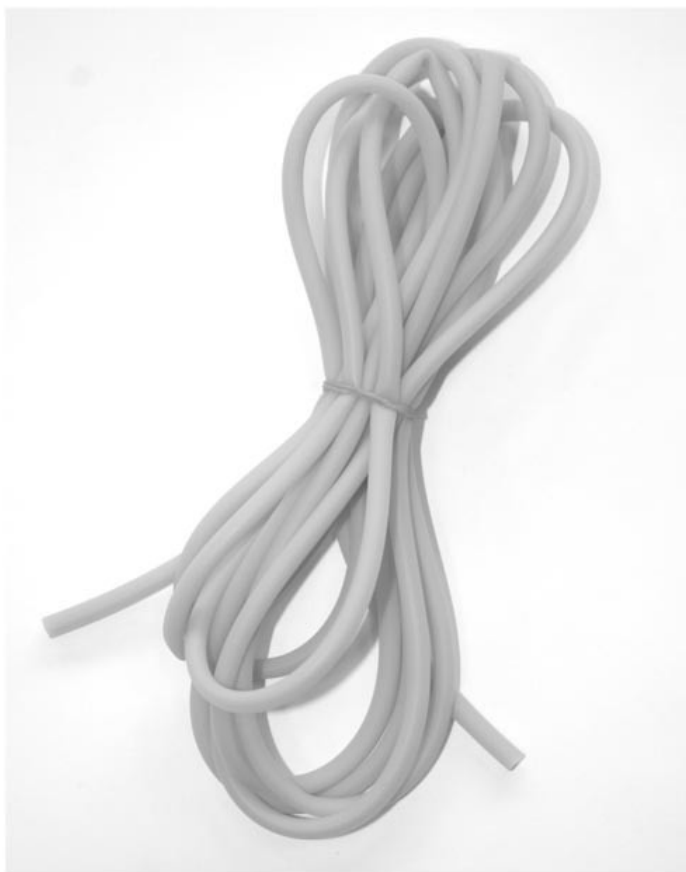
残念ですが、緊縛されただけでイッた経験はありません。マニアの方の中には、緊縛時にラブリグズを使うことを否定する人がいるのも知っています。でも、私にとって緊縛されるのは、マゾヒストとしての自分を確認するために、とても大切なことなのです。



ゴムチューブ

♥ゴムチューブ

(アメ色のゴムチューブはホームセンターなどで一メートル二〇〇円前後で購入可能です。左写真は太さ七ミリ・長さ四メートルのもの)



緊縛されるようになってからしばらくして、私はいくつかの疑問を持つようになりました。そのひとつが股縄です。股縄とは縄を股間に通して下着のようにして、縄と女性器とをこすり合わせることで責めるといふプレイで、比較的古いSM小説の中で責め的一种として登場します。

私は何故かこの股縄をよく覚えていて、緊縛を体験できるチャンスがあるならやってみたいと思っていました。ところが、今の彼氏とつき合うようになって、実際に縛られて股間に縄を通されることがあっても、上手くいったためしがないのです。立ったりしゃがんだりするなど、身体を動かすだけで縄が緩んでしまったり、逆に必要以上に食い込むので痛かったりと、感じるどころではなかったというのが正直な感想でした。

彼はアマチュアですが、手先が器用で緊縛も下手ではありません。それなのに、股縄が上手くいかないのには何か理由があるのではないかと思った私が彼氏に尋ねると、

「伸び率の問題だろうね」

という答えが返ってきました。

麻縄は引っ張っても伸びにくい素材できています。

力がかかって縄が伸びてしまうと、その分だけ細くなって身体に食い込んで神経を切断してしまうからです。だから、麻縄は身体の動きに合わせて縄が伸びたり縮んだりしないため、股縄をされている側が姿勢を変えようと、緩んでしまったり身体に食い込んだりし易いのだそうです。

それでは、逆に伸び率が高い縄や紐なら股縄ができるのかという話になるんですが、彼は麻縄以外で緊縛をしたことがなく、彼にしか縛られたことのない私にも、どんな素材が良いのか見当も付きませんでした。ところが、彼が参考に買ったSM調教のハウトゥ本に答えが載っていました。ゴムチューブです。確かにゴムなら引っ張ってもいくらでも伸びそうです。

私がゴムチューブの股縄の記事を夢中で読んでいると、数日後に気を利かせた彼がホームセンターでゴムチューブを買ってきてくれました。太さが直径七ミリ、長さが四メートルのゴムチューブは、引っ張るともの凄く良く伸びます。これなら、少しぐらい姿勢が変わっても緩むことはなさそうです。

他のラブグッズと同じように、ゴムチューブを洗って殺菌してから、股縄を作ってもらいました。そのやり方

ですが、

(1) 擦過傷が起きないように、女性器の表面にローションを塗ります。

(2) ゴムチューブを二つ折りにします。四メートルのゴムチューブを二つに折るので、二メートルの長さになります。

(3) ゴムチューブを腰のくびれた部分に一回転させます。

(4) 二つ折りにした時に、真ん中にできるU字部分に、ゴムチューブの後ろ端を入れて引っ張ってベルトのようになります。

(5) U字の部分を背中の中、背骨の位置に持ってきてから、後ろ端を真下に引き下げます。

(6) そこから両脚の間を通して前に回します。この時に、ゴムチューブが股間に食い込むようになるはず。

(7) ベルト状になったゴムチューブと身体の間、股下をくぐらせたゴムチューブの後ろ端をくぐらせてから、一回転させます。

(8) 今度はチューブの後ろ端を真下に引き下ろし、身体の前側から脚の間を通して背中側に回します。この時に、もう一度ゴムチューブが股間に食い込むようになるはず。

(9) ベルト状になったゴムチューブと身体の間、股下をくぐらせたゴムチューブの後を端をくぐらせてから一回転させ、余った分を結びます。

というものでした。事前に完成写真を見ていたのですが、いざできあがるとゴムチューブでできたTバックと何かフンドシのような形になります。もの凄くエロティックで、それほど羞じらいを感じない私でも赤面するような格好です。

ゴムチューブの股縄をして、最初に試したのが屋外露出でした。私は彼の命令で、生地薄いシフォン・スカート

トを履いて屋外に出ました。二人で並んで歩き、いつものように近くにある公園に着くと、彼が私を抱き寄せるフリをしつつお尻に手を回し、スカートの上からゴム股縄を引っ張ってきます。

ローションまみれのゴムチューブがクリトリスや膣口をこする時のゾクゾクした感触のせいで、私はその場で棒立ちになってしまいました。これはかなり気持ちが良いプレイです。私は人目も憚らず彼に抱きついて、イチャイチャしながら何度もゴムチューブを引っ張ってもらいました。しかし一時間もしないうちに、腰のくびれた部分に巻いたゴムチューブが締まってきてしまい、息苦しさを感じました。

これが伸び率の高いロープや紐で緊縛をしてはいけな理由で、放置しておくと身体に食い込んでしまうのだそうです。股縄が巻き付いているのは胴体なので神経を傷つけることはありませんでしたが、これがずっと細い腕だったらと思うとゾッとしました。

ところが、どういいうわけか緊縛が出来ないS男性の中には、自転車の荷台に使うようなゴムロープ（編集部注・バンジーコードのこと）でマゾ女性を縛ろうとする人が後を絶たないそうです。

幸い、私は彼が定期的に、

「苦しくない？」

と聞いてくれていたお陰で、違和感を訴えることが出来ました。彼はすぐにプレイを中断して、私を連れて部屋に戻りました。お陰で怪我をすることはなかったのですが、イクことも出来ませんでした。もともと、プレイを中断しなかったとしても、股縄で絶頂に達することはなかったと思います。また、ゴムチューブで股間を塞がれているため、いつものやり方ではラブグッズを使うことが出来ません。

そこで凝り性の彼が最初に試したのがローターでした。コンドームをかぶせたローターを挿入し、スイッチを入れたのです。初めは上手く膣内で動いていましたが、感じている最中にフタの役目をしているゴム股縄がずれると膣圧で飛び出してしまいました。

次に私が考えたのがオルガスターをゴムチューブの間に挟むという方法でした。オルガスターは元々抜けづらいうラブグッズなので、ゴムチューブが引っかかっているだけでより抜けにくくなります。これは上手いききました。ただし、オルガスターの形状ではゴムチューブで引っかけられる部分が短く、完全というわけではありません。



そこで次に彼が考えたのが『アメバチ』を膣内に挿入して、柄の部分にゴムチューブを二重、三重に巻き付けるという方法でした。これは大成功でした。普通に入れていたら絶対に膣圧で外に飛び出してしまうはずのアメバチが、立った状態でも落ちてきません。しかし、このプレイには続きがあったのです……。



電動アナルプラグ

♥名称不明

(吸盤つきアナルプラグにローターがついたもの)



ゴム股縄を利用したプレイのために、彼が使いたがっていたラググズが電動アナルプラグでした。この文章を書く前に、彼に聞いたりネットで調べたりしたので

が、正式な名前はとうとうわかりませんでした。

電動アナルプラグはアナルプラグに振動機能がついたものです。プラグでお尻の穴を広げながら振動を感じたり、お浣腸をされた後でアナルプラグを挿入して、我慢している間に振動を感じたり、といったプレイに使われるのですが、私はこのラブグッズにそれほど良い印象を抱いたことはありません。

その原因は短さと抜けやすさです。アナルプラグの短さに関しては、もう説明したので省きます。二つ目の抜けやすさですが、これは電動アナルプラグを二穴責めに使っていたのが原因だと思えます。

二穴責めはヴァギナとアヌスにそれぞれラブグッズを挿入するプレイです。そして、膣を締める筋肉である球海綿体筋は、肛門の筋肉の外肛門括約筋と連結して8の字を描いています。だから私がヴァギナでイクと、つながっている外肛門括約筋も一緒になって動き、その拍子にアナルプラグが飛び出してしまうようなのです。

もしも、これが小型ローターなら完全に体内にあるので飛び出しづらくなりますし、逆に『アネロステンポ』や『メテオール33』のように金属製であれば、重たいのでやはり飛び出しづらいのですが、アナルプラグはどち

らでもないため、飛び出さないように押さえておくことが難しいのです。

そこで彼はゴム股縄で電動アナルプラグを押さえてしまえば、私がイッてもお尻の穴から飛び出さないのではないかと考えたようで、その二つを一緒につけてみないかと言いついたのです。もちろん、プレイは屋外とのことでした。

「あの、コントローラーはどうするんですか？」

彼から計画を説明された私は、疑問点を口にしました。電動アナルプラグはプラグとコントローラー兼電池ボックスがケーブルでつながっています。遠隔ローターのように、離れた場所で作動させることができません。彼が私に近づいてきて、有線のコントローラーをいじらなければ、アナルプラグが振動することはありません。

そこで、彼が私の部屋をあさって引っ張り出してきたのが、ウエストが幅広ゴムでできているミニのプリーツスカートでした。高校から大学時代に履いていたものですが、幅広ゴムの部分にコントローラーを挟もうというのです。また、そのコントローラーは、カーディガンや羽織って隠すという計画でした。

彼の言う通りに服を着ると、確かにコントローラーを

隠せそうですが、既に社会人の私が短いプリーツスカートを履くには抵抗がありました。女子高生のコスプレをしているようにしか見えないからです。

しかし、コントローラーをなんとかできるとわかった彼は頑なでした。最後に私の方が折れて、チャレンジに協力することになりました。

最初にローションを塗った電動アナルプラグをお尻の穴に挿入して、抜けないようにゆっくり立ち上がったところでもゴム股縄をします。この時に、股間に食い込むゴムチューブが、アナルプラグの底面を押さえつけるのです。

「上手くいったかな？」

準備ができると、彼は私にスカートを履かせ、身体と幅広ゴムの隙間にコントローラーを突っ込みました。ただ、コントローラーは私の背中側にあるので、どんな風になっているのかまではわかりません。

最後にカーディガンを羽織ってコントローラーを隠せば、JKに偽装した二〇代の完成です。恥ずかしすぎて、絶対に外へ出たくありません。

にもかかわらず、彼は何故かノリノリでした。いつもより私にベタベタしてきて、

「可愛いじゃないか」

を連呼します。それがモデルを使った写真撮影で鍛えられたテクニクだとわかっていても、悪い気はしません。私はとうとうおだてにつられ、

「じゃ、じゃあ……外に出ちゃったりしようかな？」

と部屋から出てしまいました。

しかし、これが地獄の始まりでした。小型ローターの項目にも書きましたが、肛門と直腸は足の位置で角度が変わります。直立の姿勢の時は九〇度ぐらいで、最も用が足しにくい状態になります。そして、肛門の長さはいたい三センチです。これに対して挿入したアナルプラグの長さは一〇センチ以上はありました。つまりプラグの大部分は直腸に入っています。そこで肛門の角度が変わるとどうなるかというと、アナルプラグの先端が動いて腸管をぐりぐり押し始めるのです。

この感覚はU字デイルドを無理矢理伸ばして肛門から腸内に入れた時にも感じたものですが、あの時は室内だったのでどうにもなったことが、外ではどうにもなりません。しかも『アネロステンポ』や小型ローターと違ってそこそこ太さもあるので、常にお尻の穴が広がっています。

(うわあ……)

私は気の利いた言葉も思いつかず、無言で彼に連れられて夜の散歩を始めました。遠隔ローターよりもずっと太いアナルプラグを挿入しているせいで、ただ歩いているだけで肛門がプラグと擦れて息が乱れてしまいます。

(これは駄目だ)

そう思った私は、彼の手を引っ張って帰宅を促しましたが、彼は目を合わせようとしません。プレイを続ける気なのです。しかし、彼も私の様子がおかしいのには気づいていたようで、いつもの公園ではなくて線路を跨ぐ陸橋に行きました。そこは真下が線路で、建物から離れており、少し騒いでも気づかれる心配がありませんでした。私は陸橋の金網にもたれる格好をさせられました。

(いよいよ来るな……)

と思っていると、彼がカーディガンの上からコントローラーに触れてきます。

「うー！」

唇を結んでいても声が漏れてしまうぐらい、きつい振動がお尻の穴から響いてきました。遠隔ローターの時も立ったまま潮を噴きましたが、今回も我慢ができませんでした。しかも、履いているのは普通の下着ではなくゴ

ム股縄です。ゴムチューブに尿道を押さえられているので、オシッコがプリーツスカートの中で四方八方に飛び散ります。

アスファルトにも液体が垂れたはずなのですが、路上でイッている私にそんなことを気にする余裕はありません。彼もこのままでは誰かに見つかるかわかったようなのですが、私が悶絶する姿にS心をいたく刺激されたようで、電動アナルプラグのスイッチを入れたまま私をその場から移動させようとします。

「スイッチ、スイッチ！」

彼に抱きかかえられた私は、うわごとのようにその言葉を繰り返しました。しかし、私がおかしくなっているのが愉しくて仕方がない彼は、やっぱり私のお願いを無視して陸橋の階段まで連れて行きます。

お尻の穴に異物を入れている私にとって、ここは来た時も結構な難所でした。脚を動かすたびにアナルプラグの先端の位置が変わるからです。しかも、帰りはアナルプラグが振動しているのです。

「スイッチ、スイッチい……」

私はうわごとのように言いながら、へっぴり腰で階段を降りていきました。しかし、踊り場にきたところで限



界に達し、その場でしゃがみ込んでしまいました。すると、排泄をし易い格好になったのがあだになって、ゴムチューブで押さえていたアナルプラグが、肛門括約筋の力に負けて外に飛び出ってしまったのです。

幸いなことにプラグは電動だったのでコードがあったため、私のすぐ側で止まりましたが、もしも普通のプラグだったら階段の下まで落ちていたかもしれませぬ。

さすがにマズいと思ったのか、彼はアナルプラグのスイッチを切りました。それから抜けたプラグを自分の手に隠し、私を引きずって部屋に戻りました。

こうして、私達は事なきを得たのですが、彼は反省していないどころかいたく満足だったようで、ボロボロの私から股縄を外すと襲いかかってきました。私も屋外で他人様に見つかるかも知れないというスリルのせいで酷く興奮していたため、彼のなすままセックスをしてしまいました。

それとは別にこのプレイで得られたのは、抜けやすい形状をしたラブグッズは、上から押さえつけていても抜ける、という教訓でした。挿入型のラブグッズは、

(A) ヴァギナの場合はオルガスターのように先端が球

状に膨らんでいる。

(B) アヌスの場合は完全に中に入れられる小型のラブグッズであること。ただし、引っ張れば簡単に抜くことができるように、後ろがT字になっているか、コンドームをかぶせるのが望ましい。

(C) 重さがあるので、膣圧や肛門括約筋の力でも抜けない。

のいずれかでないと抜けやすいのだと思います。



コ ラ ム ♥ 4
理 想 の ● ●
ラ ブ グ ツ ズ

by みお♥

編集部様から「美桜さんの理想のラブグッズはどんなものですか？」というお題をいただいたのですが、これは回答に迷いますね。でも、不特定多数の女性向けなら『オルガスター』一択だと思います。

私なりにラブグッズを評価するポイントというのがあるんですけど、

- ①かさばらない。
- ②操作が簡単。
- ③充電式ではない。
- ④片手で扱える。
- ⑤パワーがある。
- ⑥挿入するタイプなら、簡単に抜けない。

の中で最低でも三つは満たしていて欲しいという希望があります。『オルガスター』が足りないのは⑤だけで、私と同じように電マをオナニーのメインアイテムとして使っている女性でなければ、これも気にならないと思うんです。とにかく、本当によく考えてデザインされています。

また、私のようにクリトリスオナニーをする時に強い刺激が欲しい人には、やっぱり電マがお勧めですよ。他のラブグッズに比べると圧倒的にかさばるんですが、家庭用電源で動くためにパワーも桁違いで手放せません。オナニーの時に使う道具としては、この二つを使う回数が一番多いと思います。

ちなみに、私に使う側の彼にも同じ質問を回したところ、

「クリトリスだけでしか感じないのか、ヴァギナでも感じられるのか、アヌスでもイけるのか、太い道具の方が好きかどうかで違ってくる」

という答えで、私と同じように迷っているようでした。だから、

「平均的な女性で、ヴァギナでもオーガズムを感じられるとしたら？」

という条件をつけたところ、

「アメバチかプレデターワンドが良いと思う」

と名前を挙げてくれました。どちらも先端が振動するバイブで、先端以外の部分が細いのが

ポイントで、そのお陰でヴァギナが小さかったり狭い女性でも、それほど苦勞せずには道具を挿入できるところ、Gスポットに強い振動を与えられるところが高評価の理由だそうです。

どちらも似たような形をしています。『アメバチ』が単純な分だけややパワーが低いのに対して、『プレデターワンド』はパワーもあって細かいところまで洗練されている反面、使い方が複雑なので焦っていると使いづらいのが難点だそうです。

だから、彼の考えている理想のラブグッズは、この二つのいいところ取りで、パワーがあって先端が振動して、そこそこの長さがあって操作が単純というもので、

「誰か、そういうものを作ってくれないかなあ？」

とぼやいていました。誰か作ってくれる人はいませんか？





R-1

♥【R-1 (オールワン)】スターターセット
 (機能的・技術的にも日本最高峰のアダルト
 グッズ『R-1シリーズ』の基本セットです。
 現在このシリーズには様々なアタッチメント
 が発売されていますが、そのすべてにスター
 ターセットのコントローラーが必要です)



♥【R-1 (オールワン)】プレデターワンド
 (快感から再設計した、次世代型のマルチバ
 イブ。肉厚なヘッド部分とパイプ部分は、人
 体に優しいエラストマーを使用。膣の奥深く
 に眠るポルチオに到達できる長いヘッドの先
 端に強振動ローターを配置し、また膣口に負
 担のかからない細い柄のため、不快感なくピ
 ストン運動ができます)



『R-1』はアメバチと並んで彼がお気に入りのラブリググズです。彼の説明によると、

「たぶん、世界で一番考え抜かれたラブリググズのひとつ」
 なのだそうです。

『R-1』を使うには、まずコントローラーとローターがセットになったスターターセットを購入しなければなりません。何故なら、このコントローラーはコードを差し替えることで、対応する複数のアタッチメントを使用できるようになっているからです。だから、もしもスターターセットを買わずにアタッチメントだけを買っても、コントローラーがないのでお道具を使うことが出来ません。

彼曰く、このコントローラーが素晴らしいのだそうです。まず乾電池で動くので充電のし忘れというトラブルがないこと。次に十字キーを上下に動かすと振動の強弱が七段階でつけられ、十字キーを左右に動かすと振動のパターンが七段階で変化させられるのも分かり易いんだそうです。

更に十字キーの中央部にあるターボボタンを押すと、その間だけラブリググズがフルパワーで稼働します。つまり、強弱七段階×振動パターン七十ターボボタン一〇

五〇通りのの中から自分が好きなものを選べるのです。そして、コントローラーの左についているスイッチを一番上まで上げると、選んだ振動の強さとパターンがロックされて、解除するまでターボボタン以外のボタンが効かなくなります。

『R-1』のアタッチメントは幾つかありますが、彼が好んで使っているのは『プレデターワンド』です。先端が卵状に膨らんでいて、柄の部分は細いという『アメバチ』に似た形をしています。ただし『アメバチ』の柄が電池ボックスを兼用していたのに対して、こちらは背骨のようなジョイントになっていて九〇度近くまで曲げることが出来ます。モーターも申し分なく強力です。これ以上パワーがある道具は家庭用電源で稼働するタイプか、一部のコードレス電マだけだと思います。

彼が私に『プレデターワンド』を使うのは、ほとんどが二穴責めの時のような気がします。柄が細くて角度を変えられるので、女性器に入れるのもお尻の穴に入れるのも簡単だからでしょう。

にもかかわらず、彼はこの道具だけを愛用するわけではなく『アメバチ』もずっと使っているのです。前から、似たようなラブリググズを幾つも持っていることが気

になっていたので、

「どうして何本も同じような道具を揃えているんですか？」

と尋ねたところ、

「壊れた時の予備がまず第一だね。それと、R-1は操作というか使うまでの手順がアメバチに比べて複雑なのが、使わなくなりがちな理由かなあ」

という答えが返ってきました。

プレイ中に『アメバチ』を使おうと思ったら、『アメバチ』を出してコンドームをかぶせ、ローションを塗って女性器に挿入し、底部にあるスイッチを回せば振動を始めます。

これに対して『プレデターワンド』は、まずコントローラーを接続して次にコンドームをかぶせ、ローションを塗って女性器に挿入し、そこから更にコントローラーの主電源を入れて、パワーと振動パターンを決める最中に振動が始まります。『アメバチ』に比べると二手間多いんですね。

「その二手間が面倒臭いんですか？」

と訊いたところ、

「たとえばガラス製デイルドみたいのに、温めなければな

らない道具に比べれば全然手間はかからないんだけど、似たような道具と比べて煩雑だと、どうしても簡単な方を選びたくなる時があるんだよねえ」

という至極もつともな回答をいただきました。

よく考えると、私も愛用しているアダルトグッズの大半は操作が簡単どころか、そもそもモーターが入っていないので動かないものばかりです。ひよっとすると、ラブグッズはシンプルさが大事なのかもしれません。



キングダムハーツ Sally

♥キングダムハーツ Sally
(クールでスタイリッシュ、シルバーと黒で統一され、滑らかな曲線で使い勝手のいいスムーズバイブレーションローター。なめらかなフォルムが印象的で、くぼみが手にフィットするようにデザインされています。細長く、反った形は、当てるのにも入れるのにも適しており、多様な使い方が可能です)

『キングダムハーツ Sally』も彼が好んで使いたがるバイブのひとつですが、調べたら発売時期は結構古くて二〇〇九年でした。ただし、それでもアメバチよりはずっと新しいラブグッズなのだそうです。特徴的なのはその形で、舌のように横幅が広くて高さはそれほどなく、前よりも後ろが太くなっています。同じ形をしたラブグッズに『トゥルースキュアL』があるのですが、この時期に発売された高級感を売りにしたバイブには似たような形が多かったそうです。

どうしてこのような形になったのかというと、膣の構造を意識したからなのだそうです。閉じている時の膣はアルファベットのHを横方向に引っ張ったような形をしていて、性的に興奮して緩むと二倍から三倍に伸びます。具体的な数字は閉じている時が二センチ、広がると五・七五〜六・二五センチだそうです。

このデータから、膣に挿入するなら幅広で高さはそれほどない道具の方が入りやすいだろうという理由で開発されたのが、これらのお道具だったようです。

確かに『キングダムハーツ Sally』は女性器によくフィットしていると思います。先端が球や瘤状になっている『アメバチ』や『オルガスター』は、挿入す

る瞬間にぐっと抵抗を感じて、後はスムーズに膣内に入っていくのに対して『キングダムハーツ Sailey』はするするっと入る感じですよ。前が細くて後ろが太いので、出し入れされた時もあまり抵抗がありません。たぶんですけど、初めてバイブを使うのであれば、これぐらいがちょうど良いような気がします。

ところが、現在発売されているバイブの中で『キングダムハーツ Sailey』と同じような形をしたものはほとんどありません。私が調べた中ではひとつだけでした。今は高級バイブの大半も、先端が瘤状に膨らんでいます。

それでは、どうして膣にフィットする形状のバイブが廃れてしまったのかというと、私の推理ですが入りやすさが仇になったのではないかと思っています。要するに、入れやすいということは抜けやすいんです。

この本を書くために、改めて自分が好きなラブグッズについて考え直した私ですが、バイブのように挿入する道具に求める条件のひとつが「抜けにくさ」であることに気づきました。その方が楽に片手で使えるからです。ところが、『キングダムハーツ Sailey』は手を離せば確実に抜けます。そうになると、抜けないようにずっと

バイブを持っていなければなりません。

では、使い方を変えてクリトリスに当てるならどうかというと、こちらも電マや『オルガスター』と比べると、クリトリスに当たる部分の面積が狭くて使いづらいと思います。形状から考えてアヌスへの挿入も難しいでしょう。

この道具はヴァギナへ入れる目的でパートナーに使って貰うのが、一番しっくりくるような気がします。また、私も彼にこのラブグッズで愛されている間はとても感じることができるので、不満はまったくありません。ヴァギナの中で、小刻みに動かしつつもストレスにならないからです。

もしも、これが『オルガスター』のように先端が瘤状に膨らんでいて、なおかつ柔らかい素材で出来ていたなら、ヴァギナの中で小刻みに動かすのは難しかったはずですよ。何故なら、動かそうとしても膣内で瘤状の部分が引っかかって簡単に抜けてくれないからです。

二つのラブグッズは、同じバイブで、同じヴァギナへの挿入を目的にしたものでも、コンセプトが違うとそれほど形が変わるといい例だと思います。



電動ドリルバイブ

♥電動ドリルバイブ

(電動ノコギリにデイルドを装着したグッズ。
超拘束でピストン運動します。左写真はハン
ドメイドです)



これも彼氏が使う……というよりも、私がオナニーに使うのは無理なラブグッズです。電動ドリルバイブという名前がついていますが、本当はレシプロソーという電動で往復運動するノコギリを改造して、本来ならノコギリがつく部分にデイルドをつけています。それがどうしてドリルという間違った名前で呼ばれているのかというと、彼の推測によれば、
「たぶん、ドリルの方がレシプロソーよりメジャーだからじゃないかな？」
なのだそうです。

電動ドリルバイブの特徴は往復運動、つまりピストン運動をすることです。ピストン運動をするバイブは数が少ない上に、家庭用電源で動くものは更に数が限られます。彼が使っているのは非売品のハンドメイドですが、『M. A. F. ★マシンバイブ』という市販品もあるようです。

最初に電動ドリルバイブを見た私の感想は、
(これを使われたら死ぬ)

というものでした。どう見ても工事に使う道具ですよ、これは。彼がデイルドを取り付けて動かしてくれたのですが、ピストン運動があまりにも速すぎて残像が見えま

した。こんなものが膣内で動いたらどうなるかなんて、想像するのも嫌でした。また、もの凄い音がするのも気に障りました。

「無理。絶対無理」

私はそう言って電動ドリルバイブを拒否し続けました。その決意が揺らいだのは、金属製デイルドで深い絶頂に達してからだだったような気がします。金属は固くて冷たくて怪我をしそうという思い込みが消えるのに伴って、電動ドリルバイブを使っても良いかなという気持ちになったんでしょうね。

ただ、とんでもない音がするので自室でも彼の部屋でも使えませんし、ラブホテルでも狭い部屋では無理そうだったので、吊りまでできるSM用の部屋に行く時に、初めて体験することになりました。その時の私は後手縛りされた上で、ベッドの上に仰向けの姿勢で寝転がりました。彼は電動ドリルバイブに装着したデイルドにコンドームをかぶせ、その上からローションをたっぷり塗って、私の女性器に挿入します。

デイルド自体の大きさはそれほどでもないのに、

(あれ? こんなものかな?)

と思っていたのもつかの間、ガガガガガガ……と

いう機械音と共にバイブがピストン運動を始めました。「ああああああああああっ!!」

私はあつという間にイッてしまいました。それなのに、疲れを知らない機械は私を責め続けます。断続的にイカされながら、私は今まで経験したことのない感覚を味わいました。膣内が痺れてきたのです。プレイが終わる頃になると、下腹部が痙攣するほど絶頂に達しているのに、膣内は完全に痺れてしまっていました。しかも、いつもなら深くイッた時に起きる潮吹きもありませんでした。

これ以降、電動ドリルバイブを経験したことはありませんし、自分からしたいとも思いません。やっぱり、あのうるさい音は好きになれないですね。もう少し静かなら、またプレイする気になるのかも知れません。



ロウソク

♥ 妖炎くようえんく

(SMプレイの必需品、カラフルな低温ロウソク。熱すぎないよう、融点は低めの作りになっている人気商品です。たらした蠟は、ほんのり色づいて綺麗。オレンジ・レッド・パールの全三色があり、左写真はレッドです)



ロウソクも私から進んで使わないSMグッズのひとつです。ちなみに、彼もこの道具をあまり使いたがりません。SMと言っても私達のプレイは拘束がメインで苦痛系のプレイにはあまり興味がなく、更に後片付けが面倒臭いのが大きいと思います。

ロウソクをSMプレイに使うことは、たぶん高校生ぐらいの頃にはもう知っていたんですが、どうして使うのかを知ったのは、つい最近のことです。彼の家遊びに行つて、SMグラビア誌をパラパラ捲っていたところでロウソク責めの写真を見て、

「これ、どういう意味があるの?」

と尋ねたのがきっかけでした。

「これって、ロウソク責めのこと?」

「ええ」

「それは鞭では強く叩けない、身体の柔らかい場所に垂らすのが基本的な使い方かな?」

「鞭で叩けない場所?」

「筋肉が全然ないところだよ。たとえばお腹とか」

彼の説明によると、SMプレイではお尻や足などの筋肉が多いところは鞭や手で叩き、お腹や乳房、指などの柔らかいか脆いので叩いただけで大怪我になりそうところではロウソクを垂らして責めるのだそうです。ただ、お尻だけはロウソクを垂らすことが結構あるので、兼用じゃないかという話でした。

また、垂らすロウソクは六〇度以下で溶けるものでないと火傷を起こすので危険なのだそうです。アダル

トショップで販売されているSMプレイ用口ウソクは、五〇度以下で溶けるように成分を調整してあるものがほとんどなので、興味があるならプレイをしてみるかと言われました。

私は彼の誘いに乗りました。ただし、彼の部屋で口ウソクの火が何かに燃え移ったら大変なので、プレイはラブホテルですることになりました。緊縛、バイブ責めと、一通りのプレイをこなしてから、彼が持ち出したのが青色のビニールシートでした。私はそこでまず仰向けに寝転がって、乳房と股間に口ウソクを垂らされました。

「熱いっ!!」

最初は怯えていたこともあって、必要以上に熱さを感じていた私ですが、しばらくすると慣れてしまいました。やがて垂らされた口ウソクが固まって、ブラジャーのようになっただけにはちょっと感動しました。

それが終わると次は四つん這いの格好になり、女性器に『アメバチ』を挿入されてから、背中とお尻に口ウソクを垂らされました。熱い口ウソクを感じると、つい身体を固くしてしまうのですが、お尻の穴や膣の筋肉も一緒に収縮するので、バイブを強く締めつけてイッてしまいます。ゲーゲル体操と似たような感じですが、こちらの方が

ずっと酷いことをされている気になります。

ちなみに溶けた口ウソクは、高い位置から垂らすと身体に落ちるまでに少し温度が下がるのだそうです。プレイが終わるとビニールシートの上に立たされ、固まった口ウソクを彼と一緒に落としていきました。分厚い部分は指で引っ掻くだけではがれるのですが、しぶきのように跳ねてから固まった口ウソクははがすのが難しくて苦労をしました。

すべての後片付けが済むと、彼はビニールシートを折ってラブグッズが収納されているスーツケースにしまいました。部屋を汚さないようにプレイするには、これだけ大がかりな準備が必要だと思つくと、私はオナニーで口ウソクを使う気にはなれませんでした。

ところが彼は、

「こういう本格的なプレイじゃなくて、手とかに口ウソクを垂らすだけなら、ソイキャンドルを使えば良いんだよ」

と教えてくれました。ソイキャンドルのソイは大豆のことで、大豆のワックスを使った口ウソクをソイキャンドルと呼ぶのだそうです。ネットで調べてみたら、オーガニックがどうこうという怪しい文句が満載のサイトで



宣伝されていましたが、彼によると四二度とお風呂ぐらの温度で溶けるため、火傷をする心配がないのでおすすめできるとのことでした。

ただ、その話を聞いても私は使いたいとは思いませんでした。私にとって、このグッズはあくまでもS Mプレイとして使われるもので、オナニーには合っていないんだと思います。



洗濯ばさみ

♥洗濯ばさみ

(木製洗濯ばさみ。一〇〇円ショップやホームセンター、雑貨店などで購入可能)

イラスト/しいなシン



編集部様からラブリグッズの使い心地に関するレポートを依頼された時に、一番困ったのが送られてきた一覧に乳首に使用する道具が入っていたことでした。実は乳首責めの道具で上手くいったことがほとんどないのです。乳首が感じないわけではありません。オナニーの最中に物足りないなと思ったら、片手でクリトリスを弄りながら、もう片方の手で乳首をいじることはよくあります。私は右利きなので、股間に伸ばすのは右手、乳首をいじるのは左手で、その際に触れるのは右乳房の乳首です。しかし、オナニーはこれで満足できてしまうため、敢えて乳首専用のラブリグッズを使う必要を感じたことがないので。彼が面白がって乳首を挟むタイプ、吸引するタイプの責め具をそれぞれ一回ずつ買ってきたことがあるのですが、どちらもプレイの途中で落ちてしまっただけで使えない物になりませんでした。彼に尋ねてみても、「乳首責めの道具でおすすめてくれるものは知らないなあ」という答えしか返ってきません。そもそも、彼が私の乳首に関心を示したことはほとんどないのです。せいぜい、SMプレイの最中にローソクを乳首に垂らすか、木製の洗濯ばさみを挟むぐらいです。そこで、「もの凄くたまに洗濯ばさみで乳首を挟みますよね？」

と尋ねると、次のような手順を教えてくださいました。

(1) まず、木製の洗濯ばさみ（編集部注・木製クロスピンのこと）を買ってきます。乳首を挟める程度に大きく、竹製ではないものが望ましいそうです。彼は某Sで始まる一〇〇円ショップで買っています。

(2) 洗濯ばさみを指で広げ、バネを強制的に緩めます。目安は指で挟んでもそれほど痛くない程度です。

(3) プレイの時に乳首を挟みます。

木製を使うのは、金属製に比べると軽い分だけ落ちにくいからだそうです。彼にもらった洗濯ばさみで試してみましたが、確かに落ちにくいと思います。でもこの道具を好んで使うかというと、たぶんそれはないでしょう。乳首を洗濯ばさみで挟まれるのも、ローソクを垂らされるのも、どちらも緊縛をされた時に限ります。私がその責めを受けるのは、緊縛されて手が使えないからです。手が使えるのであれば、指で弄るのが一番楽ですし、それは今後も変わらないような気がします。

♥ 編集部より——女性全般の性感、及びに自慰や性行為で感じられない原因について

『女性のための玩具 私が試したラブグッズ』は、著者である久雅山美桜さんの実体験をもとに執筆されたレポートであり、紹介されたラブグッズに対する評価はあくまでも美桜さんの個人的見解です。従って、同じラブグッズを別の女性が試しても、同じような結果になるとは限りません。

しかし、それだけではあまりにも不親切ですので、この章では女性全般の性感、及びに自慰や性行為で感じられない原因について紹介していきます。

1. 女性の性的興奮

女性が性的に興奮するプロセスは、基本的に男性と変わりません。まず、副交感神経という自律神経の一種が亢進している必要があります。副交感神経が亢進すると、人間はリラックスした精神状態になります。同時に内臓への血流が増えます。そして、内臓の一種である女性器への血流も増えます。その結果、クリトリスが充血して勃起します。これは男性器が勃起するのと同じです。また、小陰唇も充

血して厚ぼったくなります。

更に女性器に流れ込んできた血液から血漿（血液の液体成分。血液から血球を取り除いた残り）が生成され、膣粘膜から染み出します。これが愛液（膣粘液）の主成分とされます。この段階で閉じていた膣が緩み、横方向に大きく広がります。この時の長さですが、閉じている時が二センチ、広がると五・七五〜六・二五センチです。

同時に膣は奥方向にも伸びます。性的に興奮していない時の膣の長さは七〜八センチ。これが興奮すると九・五センチから一〇・五センチに伸びます。つまり、膣は横方向へと大きく伸びるのですが、これが男性器を受け入れるための準備であることは言うまでもありません。

2. 女性の性的快感

女性の性的快感を直接的に引き起こす部位は、クリトリスとGスポットです。クリトリスは男性器（ペニス）と同じように、性的に興奮した状態で指や機械によって刺激されると、最後には交感神経が優位になってオーガズムが起

きます。オーガズムが起きたかどうかを判断する一番確実な方法は瞳を見ることで、交感神経が優位になっているため瞳孔が開きます。これを「散瞳（さんどう）」といって、特殊な目薬を使わなければ同じ状態にはできないので嘘がつけません。

厄介なのがGスポットです。ここは男性の肉体で前立腺に当たる部位なので、女性前立腺と呼ぶのが正しいのですが、なぜか「女性には前立腺が存在しない」という迷信がまかり通っているのです。

女性前立腺の存在は、女性の尿から前立腺液と同じ成分が検出されたために確実視され、電子顕微鏡で確認されているにもかかわらず、「女性はクリトリスでしか感じない」という嘘が女性自身からも発せられている現状は嘆かわしいとしか言えません。

ただし、男性前立腺がクルミのような形をしていて中に尿道が通っているのに対して、女性前立腺はちくわ、あるいはマカロニのように尿道を取り囲むような形状をしています。また、男性前立腺が直腸から押すことで快感を得るのに対して、女性前立腺の真下は膣なので、膣から前立腺を刺激する、あるいは直腸から膣を挟んで前立腺を刺激する方法で快感を得ることが出来ます。

膣は入り口から三分の一、つまり興奮した状態では三〜四センチのところに感覚器官が集中しており、奥に入るにつれて何も感じなくなっていくます。これは出産時に必要以上の苦痛を感じないための仕組みです。従って膣内から女性前立腺を愛撫する場合は、膣口から二〜五センチ程度の浅い部分を、指、ペニス、ラブグッズなどで圧迫して刺激するのが良いと考えられています。

女性前立腺への刺激で絶頂に達することをヴァギナオーガズムと言い、男性が男性前立腺で絶頂に達するドライオーガズムと同じものです。その特徴はクリトリスオーガズムに比較すると何度も立て続けにイケることにあります。また、その過程で尿と一緒に前立腺液を放出する場合があります。いわゆる潮吹きです。

女性がオーガズムに達せる他の部位として、乳首と下腹部も挙げられます。乳首はクリトリスのように愛撫していると絶頂に達する女性がいりますが、個人差が大きいので誰もがそうなるとは限りません。下腹部は女性がヴァギナオーガズムに達している最中に手や指で内側に押し込めば、連続してオーガズムを引き起こせる場合があります。しかし、これもすべての女性が可能とは限りません。

この他に、オーガズムには直接つながらないものの、指

や手のような敏感な場所を撫でる、キスをして舌を刺激する、表皮を優しく撫でるなどの方法が性感につながると思われています。ただし、愛撫の最中に苦痛を感じるほど強く握ったり押ししたり、乳首をつまむなどの行為をするとうせつかく亢進していた副交感神経が交感神経に切り替わってしまい、性的な興奮が維持できないことがあります。

自律神経の一種である交感神経は、副交感神経とは対の関係で「闘争や逃走」、すなわち生命の危険を感じた時に亢進します。そうになると、筋肉への血流が増えて苦痛への耐性が増すのですが、その分だけ内臓への血流が減少するので、男性の場合は勃起を維持できなくなり、女性の場合には愛液が生成されなくなります。要するに、生き死にかかっている最中に、セックスなどしていただけないと肉体が判断しているわけです。

しかし、安心しても良いはずの状況で、交感神経が亢進していると、セックスをしても感じられない、セックスに関心を持ってない、セックスに嫌悪感がある、などの問題を引き起こす場合があります。これ以外にも、身体的な問題によってセックスに関心を持ってない、あるいは嫌悪するケースがあります。

アメリカ精神医学会によって出版されている『精神障害

の診断と統計マニュアル』の第五版、略してDSM-Vでは、こうした女性の性行動に関する障害を、女性性機能障害と呼んでひとつのカテゴリにまとめています。英語ではFemale Sexual Dysfunctionを略してFSFDと呼びます。

3. 女性性機能障害

女性性機能障害は、次の六つに分類されています。

- (1) 性的関心／興奮障害
- (2) オルガスム障害
- (3) 性器・骨盤痛／挿入障害
- (4) 物質／薬剤誘発性機能障害
- (5) 特定の理由による機能障害。たとえば性嫌悪など。
- (6) 特定の理由のない機能障害

これらの具体的な内容に関しては【表1】を参照して下さい。この中でわかりにくいもののひとつがオルガスム障害で、ヴァギナだけでオーガスムに達せなくとも障害とは見なしません。つまり、セックスの最中に自分でクリトリスを弄ってオーガスムに達せるのであれば、障害ではないと判断されます。

表1・女性の性機能障害

名称	状態
性的関心 ／興奮障害	性的関心障害とは、性行為への関心や性的思考が失われた状態をさす。興奮障害とは、性的刺激への反応、精神的または感情的（主観的）反応、あるいは身体的反応（外陰部の腫脹、ぞくぞくしたり、鼓動が速くなったりするような感覚、膣湿潤など）、もしくはその両方がみられないことをさす。
オルガスム障害	十分な性的刺激を受け女性が性的に興奮していても性的な快感の最高潮（オルガスム）が遅れたり、起こらなかったりする障害。
性器・骨盤痛 ／挿入障害	陰部前庭炎、子宮内膜症、尿道憩室、また骨盤や膣の手術歴などが原因で性器周辺が痛いので性行為ができない。あるいは性的虐待やストレスが原因で性交疼痛が起こり、男性器などを挿入できない。
物質／薬剤誘発性 機能障害	抗うつ薬やアルコール、経口避妊薬、ガンに対する化学療法などによって性的興奮が減退する。
特定の理由による 機能障害。たとえ ば性嫌悪など。	身体的問題がなく精神疾患でもないが、性行為に対して嫌悪感をもつ状態を性嫌悪と呼ぶ。対人関係に支障をきたす、本人が精神的苦痛を訴えると、性嫌悪障害と診断される場合もある。
特定の理由のない 機能障害	上記5つ以外の理由

※表1・参考……東邦大学医療センター大森病院リプロダクションセンター（泌尿器科）
<http://www.lab.toho-u.ac.jp/med/omori/repro/>

表2・性交疼痛症（性交痛）

場所	原因
入り口付近	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みに対する外陰部の感受性が増加する誘発性膣前庭炎 ・外陰部、膣、バルトリン腺（膣開口部の両側にある小さい分泌腺）などの炎症や感染（性器ヘルペスを含む） ・尿路の炎症や感染 ・外陰部のけが ・避妊用発泡剤やゼリー、ラテックス製コンドームに対するアレルギー反応 ・先天異常（膣内の異常隔壁など） ・膣を狭めるような手術（たとえば出産時に破れた組織を修復する手術、骨盤底の障害の修復手術など） ・処女膜が陰茎の挿入を妨げている場合
挿入後の ピストン運動 の際	<ul style="list-style-type: none"> ・陰毛による痛み（男性側・女性側のいずれか、または両者の陰毛がセックス時に女性器に入りこんだり、外陰部で毛ずれしたりしてヒリヒリと痛む） ・膣カンジダ ・萎縮性膣炎（更年期で卵巣の機能が衰えて、エストロゲンの分泌減少が原因だが、若年層にも見られる）
深部痛	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮口の位置の変化、子宮筋腫（良性の腫瘍） ・子宮内膜症、骨盤内炎症性疾患（子宮頸部、子宮、卵管の感染症） ・STI（クラミジアや淋病などの性感染症に罹患し、炎症が子宮や卵管にまで広がって子宮頸管炎や卵管炎を起こしているなど） ・感染、手術、癌に対する放射線療法などの後で生じた、骨盤内臓器の癒着組織（癒着）
膣痙 (ワギニズム)	<p>自分の意志とは無関係に起こる膣開口部周囲筋収縮で、診察では異常が確認されないものを言う。多くの場合、性交直前に起こるが、タンポン挿入時あるいは膣の近くを触った時などに起こる女性もいる。性的興奮を阻むものではないが、強い筋収縮により、性交に痛みが生じたり、性交できなくなったりする。</p>

表3・女性器におこる損傷

名称	状態
会陰裂傷	分娩時に会陰の伸びが悪い・胎児の頭が大きい・陣痛が強い、などの原因で、会陰が切れて出血する。
子宮破裂	産道が狭い、胎児の位置に異常がある、異常に強い陣痛、外から力が加えられた時などに起こる。
子宮頸管裂傷	出産時に子宮頸管の両側で起こることが多い。裂傷が子宮動脈まで達し、大出血を起こす場合もある。

表4・様々な恐怖症や嫌悪

名称	状態
裸恐怖症	英語では Gymnophobia。下着を含む衣類を脱ぐべき状況や場所（セックス、入浴、排泄など）でも強い嫌悪感と抵抗を示す。
性器恐怖症	性器に対する恐怖や憎悪で、女性器に対する恐怖は女性器恐怖症 (eurotophobia)、男性器は何故か勃起した男性器のみを恐怖の対象とする勃起した男性器恐怖症 (Medorthophobia) と呼ばれる。
前戯恐怖症	英語では malaxophobia。前戯をすることに対して嫌悪感や恐怖を抱く。
キス恐怖症	英語では philemaphobia。キスに対する嫌悪感や恐怖で、キスが慣習化していない日本ではそれほど大きな問題にはならない。
男性恐怖症	英語名で androphobia。男性そのもの、あるいは男性的なフェチに対して恐怖を覚える症状。
男性嫌悪	英語名では Misandry。日本でもミサンドリーで通用する。男性、あるいは男性らしさに対する侮蔑や偏見や憎悪の感情を表す単語である。

表5・性器の奇形

名称	状態
膣閉鎖症 (処女膜閉鎖症)	通常、中央部があいているはずの処女膜が、完全にふさがっている状態。原因は先天性の異常、あるいは炎症や外傷など。治療は処女膜を切って粘液や月経血の通り道を作る(処女膜切開術)。
膣中隔	病気というよりも状態異常のようなもの。女性の膣の内部に仕切りができてきているような状態を指し、これが膣全体に中隔ができると膣が2つ存在するいわば重複膣と呼ばれる状態になる。
膣狭窄症	先天性あるいは炎症や外傷などによって、女性性管の膣が狭窄を来した状態。程度に応じて頸管(けいかん)拡張器による膣腔(ちつくう)の拡大、狭窄部の小切開、さらに全体的膣形成までさまざまな手術が行われる。
膣欠損症	先天的に女性の膣が欠損した状態。先天性膣欠損症の大部分を占めるものにロキタンスキー・キュストナー・ハウザー症候群があり、発症頻度は、5000人に1人の割合と言われる。手術により膣造成術を行う。

表6・子宮の奇形

名称	状態
重複子宮	独立した子宮が2つあり、膣や子宮口も分かれている。
双角双頸子宮	子宮の中に2つの内腔があり、子宮口も2つある。
双角単頸子宮	子宮がハートの形で、子宮内腔がくびれている。
中隔子宮	子宮の形は変わらないが、内腔に壁ができています。
弓状子宮	子宮の上の子宮底部が少し窪んでいる。
単角子宮	子宮ができるときに左右のミューラー管が癒合して、片側が欠損した状態や痕跡だけを残した状態で、子宮が通常の大さの半分ほどしかない状態。

同様に解りにくいのが性嫌悪で、これは性行為や性に関する情報に対して、極度の嫌悪感を抱く精神状態を指します。程度が酷く、日常生活に支障を来したり、本人がそうした症状を苦痛に感じている場合は、性嫌悪障害と診断されることもあります。

日本では生殖医療を専門とするリプロダクションセンターや産婦人科などで、医学的検査と並行して『女性性機能指数（FSFI）』や、『性嫌悪質問紙』などの質問に答えていくことで診断されます。内容が気になる方は、128ページから129ページに東邦大式の『性嫌悪質問紙』を掲載したのでチェックしてみてください。

性交時の苦痛、正確には性交疼痛症の原因に関しては【表2】を参照してください。また、これと並んで女性器に起きやすい怪我、損傷の事例を【表3】にまとめてあります。性嫌悪以外の理由で性機能障害が起きる原因と推測されるものに関しては【表4】にまとめました。また、性器の奇形に関しては【表5】、子宮の奇形は【表6】、これ以外の理由は【表7】にまとめてあります。

こうした原因がすべて当てはまらず、なおかつ自慰行為ではオーガズムに達しているのであれば、パートナーを疑った方が良いでしょう。男性であれば早漏である、短小

でペニスの太さが足りない、自分さえ射精できればそれでいいという考えで、セックステクニックを磨くつもりがない、などが典型となります。

そして、もしも前述の条件に該当するのであれば、これ以上関係が続けるのか、あるいは別れるかの判断を迫られることになるでしょう。何故なら、それらの原因が劇的に改善する可能性はほとんどないからです。

もちろん、改善できる部分もあります。たとえば、セックスの前に手をチェックして、爪が伸びていたら切ってもらう、人間の神経は表皮に集中しているのだから、女性の肉体を必要以上に押しついたりつねたりせず、軽く触れる程度に愛撫するように頼む、擦過傷を防ぐ目的で常にローションを使う、などです。

もしもこうしたパートナーからの申し出に応じられない相手であれば、やはりセックスをするのに相応しくないと判断して関係を考え直すという選択肢を常に持っていた方が良いでしょう。こうした、他人をいたわれない相手と付き合い続け、貴方の心がねじ曲がってしまっただけは手遅れです。自分を守るのは自分自身だと肝に銘じておきましょう。

性嫌悪質問紙（東邦大式）

	そ う だ	ま あ そ う だ	や や ち が う	ち が う
A. 最近 1 ヶ月間の状態についてお答えください。最もあてはまるものに○をつけてください。				
1. セックスのことを考えると、不安や恐怖が生じる。	4	3	2	1
2. 性欲が低下している。	4	3	2	1
3. 膣内性交することを恐れている。	4	3	2	1
4. セックスへの恐れから、最近は性的関係を避けている。	4	3	2	1
5. 自分の性的行動を批判されないか心配している。	4	3	2	1
6. 他人が自分をどのように思っているかよく気になる。	4	3	2	1
7. 性的関係を持つような状況を避けるようにしている。	4	3	2	1
8. パートナーからの性器への性的接触を、いつもあるいはほとんど、繰り返し避けている。	4	3	2	1
9. キスやペッティングは怖くないが、膣内性交は怖い。	4	3	2	1
10. セックスに対する私の態度は異常だと思う。	4	3	2	1
11. 今のところ、膣内性交をするつもりはない。	4	3	2	1
12. 性生活は常に不満の原因になっている。	4	3	2	1
13. セックスの時にもっとリラックスしたい。	4	3	2	1
14. 以前より現在の方が、セックスを恐れている。	4	3	2	1
15. 自分の性的行動を心配しないようになりたい。	4	3	2	1
16. 異性と2人きりになるのを避けている。	4	3	2	1
17. 自分が性的行動に適していないと感じる。	4	3	2	1
18. セックスの問題について相談したい。	4	3	2	1
19. セックスに関するリスクは、得られる快感より大きな問題だと思う。	4	3	2	1
20. エイズの恐怖が、セックスへの恐れを増加させている。	4	3	2	1
21. 性行為感染症に罹患することをとても心配している。	4	3	2	1
22. 相手に性行為感染症のような病気がないと分かれば、もっとセックスに対して活動的になれると思う。	4	3	2	1

23. 妊娠するかもしれないと考えると怖い。	4	3	2	1
24. 安全なセックスはありえないと思う。	4	3	2	1
B. 過去の状態についてお答えください。最もあてはまるものに○をつけてください。				
25. 子供の頃、性的なことをタブー視した教育を受けた。	4	3	2	1
26. 子供の頃、性的行動をしたことを罰せられた。	4	3	2	1
27. 過去に、痴漢（その他、レイプ、近親相姦など）を受けたことがある。	4	3	2	1

表7・その他の理由

名称	状態
同性愛者に対する 異性愛の強要	女性同性愛者に男性との性行為を強要する。
性別違和	以前は性同一性障害と呼ばれていた。肉体が女性の場合、女性という性別に違和感を感じている。
精神病	統合失調などの精神疾患が原因で、異性に対して強い敵対心や被害妄想を抱えていたり、あるいは自分が女性であることが許せないなど。
異性装 ／異性化願望	異性の格好をしないと性的に興奮できない。女性の場合は男装。あるいは、性行為中や自慰中に「自分は男だ」と暗示しないと性的に興奮できないなど。

※表2・参考……「MSD マニュアル家庭版」

<http://www.msdmanuals.com/ja-jp/> ホーム

※表3・参考……「カラダの教科書」<https://karada-navi.com/>

※表5・参考……「Doctors Me (ドクターズミー)」<https://doctors-me.com/>

「健康創造塾」<http://ksj3691.hatenablog.com/>

※表6・参考……「こそだてハック」<https://192abc.com/>

●協力ー秋葉原ラブメルシー

LOVE
merci

秋葉原に来たら「ラブメルシー」！いつでも新しいドキドキが満載！

ラブメルシーは萌えと電気の街、秋葉原のご真ん中！

女性でも入りやすい日本最大級のアダルトグッズショップです。

住所◎東京都千代田区外神田1-2-7（JR秋葉原駅電気街徒歩2分）

電話◎03-5297-6685

営業時間◎10:00～22:00（年中無休）

<http://www.akibalovemerici.com/>

『女性のための玩具』

私が試したラブグッズ』

二〇一七年七月一〇日発行

著◆久雅山美桜

イラスト◆あほすたさん／渦の木環／オヨヨ／菊一もんじ
／しいなシン／眠井ねる／Dee（五十音順）

協力◆鳥山仁（120～129ページ）

発行人◆小野寺一

編集人◆樺昭子

発行所◆三和出版株式会社

東京都豊島区巢鴨四丁目二六番地一〇号 三和ビル

編集◆〇三（五九〇七）七〇一五

営業◆〇三（五九〇七）七〇一一

印刷◆図書印刷株式会社

乱丁本・落丁本はお取り替えいたしません。

本書の一部あるいは全部について著作者から文書による承諾を得ずにかなる方法においても無断で転載・複写・複製することは固く禁じられております。

女性の
ための
玩具
私が試した
ラブグッズ



Illustrator

あほすたさん

渦の木環

オヨヨ

菊一もんじ

しいなシン

眠井ねる

bee

「私が初めてラブグッズを使ったのは大学生になって、ひとり暮らしをスタートしてからです。最初買ったのは電マで次はローションでした」…… 13歳での初オナニー、彼氏との出会いから現在まで、ラブグッズに囲まれてのオナニーライフとラブライフを赤裸々に綴った、普通のオンナノコ・美桜のおもちゃ日記です。